使用説明書

ご使用前に
必ずお読みください

α-7700i

MINOLTA

お買い上げありがとうございます。

ミノルタα-7700iクォーツデート/α-7700iは、最新の電子技術を導入し、オートフォーカスや露出制御システムなどの自動化のレベルを大幅に高めました。
さらにカードシステムの採用など、一眼レフカメラのイメージを大きく変える近未来タイプのカメラです。

ご使用前に、この使用説明書を最後までお読みください。また旅行など撮影におでかけの際は、本書をお持ちいただくと便利です。お読みになったあとは保証書とともに大切に保管してください。

はじめに

STEP 1

初めて一眼レフカメラをお使いになる方や、カンタンに撮影したい方へ

STEP 2

個性的な写真を撮りたい方へ

（操作はカンタンですので気軽にチャレンジしましょう）

STEP 3

より高度な撮影テクニックを求める方へ

その他

おもな特長

インテリジェントAF

■ワイドなフォーカスエリアにより被写体がとらえやすく、スナップ感覚で撮影できます。

■被写体の静・動に応じて、AFが最適に作動します。

■動きの速い被写体にもピントを合わせます。

■暗いところでもピントを合わせます。

インテリジェントカードシステム

●インテリジェントカードシステムとは、カードで写真が楽しめるまったく新しいシステムです。
カードをセットするだけで、目的に応じたすばらしい写真が簡単に撮れます。
また自分好みのカメラにチューンアップすることもできるなど、クリエイティブな撮影も楽しめます。

操作性を重視したジャストフィットデザイン

●フィット感に優れ、操作もしやすい3次元曲面デザインです。

●傾斜した表示パネルにより、表示がとっても見やすくなりました。

インテリジェントAE

■逆光でも適正露出

●逆光や、背景が暗い場合でも被写体を適正な露出にします。

■フラッシュも自動発光

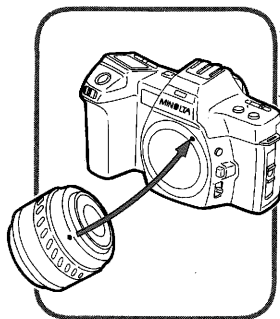
●専用フラッシュを取り付けていれば、暗いところはもちろん、逆光でも人物と背景の明るさの差が極端に大きい場合は、フラッシュが自動的に発光。より美しい撮影ができます。

最適なプログラムライン

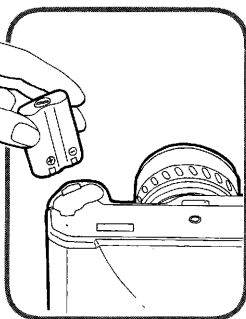
●レンズの焦点距離に応じて、最適なシャッター速度と絞り値を設定します。

ミノルタα-7700iの機能を活用していただくためには、当社独自のノウハウによりボディ特性に適合するように設計・製造管理されているレンズおよび付属品の使用をおすすめします。当社製品以外の付属品を単に装着できるというだけでお使いになる場合、いかなる事象が生じるかについては予想いたしかねます。

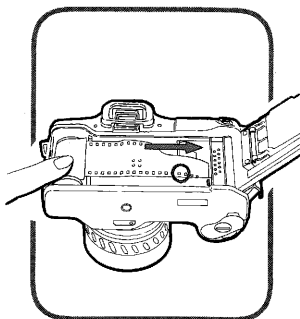
フルオート撮影　早わかり

1 レンズを取り付けます

- 2つの赤点を合わせて、はめこみます。
- 時計方向に回して、カチリとロックがかかればOKです。

☞P.12

2 電池を入れます

- 電池室内のラベルにしたがって電池を入れます。
- メインスイッチをONまたは■))) にして電池のチェックをしてください。

☞P.13

3 フイルムを入れます

- カメラのななめ上から差しこみます。
- フイルム先端を赤い指標に合わせ、フイルムの穴と歯車をかみ合わせます。
- 裏ぶたを閉じるだけでフイルム感度のセットや、1コマ目までの巻き上げも自動的に行なわれます。

☞P.15

4 フルオートにセットします

5 ピントを合わせて撮影します

● プログラムセットボタンを押すだけで、フルオートにセットされます。

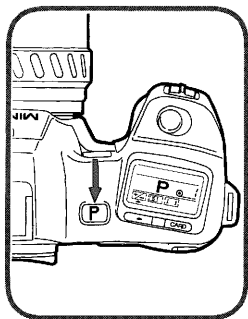
☞P.20

● 写したいものが、フォーカスフレーム［　］に入るようにします。

● ピント合わせは、シャッターボタンを軽く押すだけ。

● ファインダー内に緑色のマークが点灯すればOK。そのままシャッターを切ります。

● フイルムが終わると、自動的に巻き戻されます。

☞P.21

フォトテクニックカードが便利です。

カードを入れるだけで、目的に応じたすばらしい写真が簡単に撮れます。

スポーツカード
スポーツ撮影に最適です。

オートデプスカード
人物はもちろん背景もはっきり写しますので、旅行先や行事での記念撮影に最適です。

ポートレートカード
人物撮影に最適です。

クローズアップカード
花や昆虫などのクローズアップ撮影に最適です。

☞P. 57

各部の名称と主な働

○内は参照ページです。

シャッターボタン⑱
軽く押すと、測光とオートフォーカスが同時に働きます。さらに押し込むと、撮影されます。

ファンクションボタン㊴
セレクトキーで選んだ機能を設定します。
押しながら、アップダウンレバーをスライドさせます。

アップダウンレバー
各種の設定時に使用します。

モードボタン㉞
撮影モードが選べます。
押しながら、アップダウンレバーをスライドさせます。

ボディ液晶表示部

カード確認窓

メインスイッチ⑰
カメラを使うときはONまたは■)))に。

オートロックアクセサリーシュー
フラッシュ等を取り付けます。

プログラムセットボタン㉞
押すだけでフルオートにセットします。

カードキー
主にカード機能のON/OFFを切り替えます（カード装着時)。

セレクトキー㊴
変更したい機能を選びます。
（露出補正・1コマ撮影/連続撮影・フォーカスエリア）

〈標準付属品〉

アクセサリーシューキャップSC-7
オートロックアクセサリーシューの接点を汚さないためのキャップです。
フラッシュ等を取り付けない場合は、キャップをしてください。
なお、本キャップは、ストラップに取り付けることもできます(P.61参照)。

途中巻き戻しボタン㉓

ISOボタン㊻
DXコードのないフイルムのフイルム感度(ISO)を設定するときに使います。

スポットボタン㊹
スポット測光による撮影時に使います。
フラッシュ撮影時は、スローシンクロ撮影となります。

セルフタイマーボタン㊳

アイピースカップ

カードホルダー

カードアジャストボタン
カード内容の設定に使います。

カードイジェクトレバー㊿

フイルム確認窓

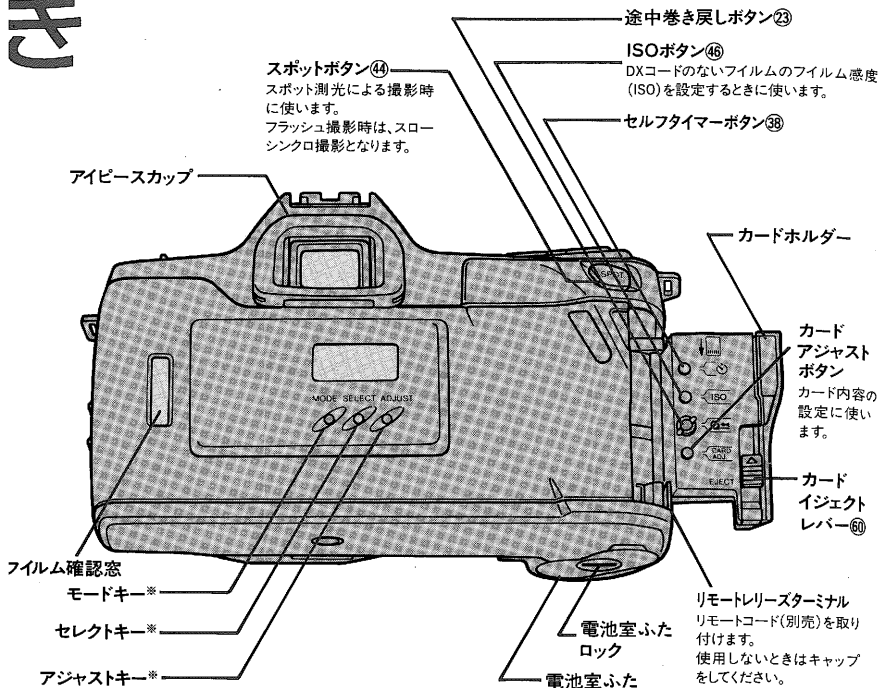
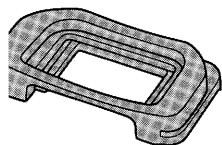
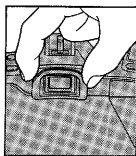
モードキー※

セレクトキー※

アジャストキー※

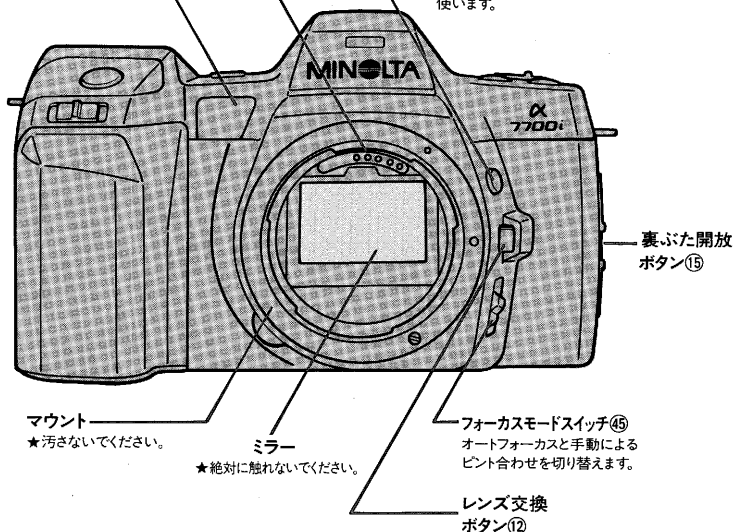
電池室ふたロック

電池室ふた

リモートレリーズターミナル
リモートコード(別売)を取り付けます。
使用しないときはキャップをしてください。

※はα-7700i クォーツデートのみ

アイピースカップEC-7
接眼部からの逆入光を防ぐフード。ゴム製のため、メガネレンズを傷めることもありません。

〈取り付け方〉
接眼枠の上から差し込みます。

AF補助光発光部㉖/セルフ作動表示ランプ㊳
被写体が暗くコントラストが低い場合は、自動的に赤色光を照射してピントを合わせます。
セルフタイマー作動中、点滅します。

AFレンズ信号接点
★汚さないでください。

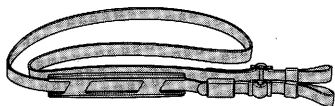
マニュアル絞りボタン㊷
撮影モードがMモードのとき、絞り値を設定するときに使います。

裏ぶた開放ボタン⑮

マウント
★汚さないでください。

ミラー
★絶対に触れないでください。

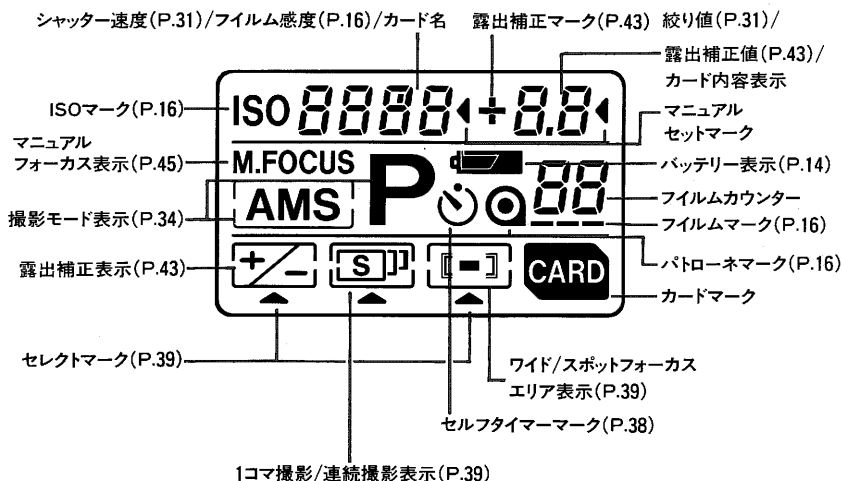
フォーカスモードスイッチ㊺
オートフォーカスと手動によるピント合わせを切り替えます。

レンズ交換ボタン⑫

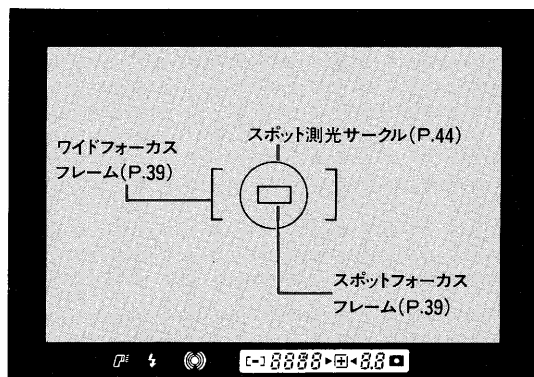
ネックストラップセットNS-1100
取り付け方は、P.61をご覧ください。

表示部について

撮影のための情報は

ボディ液晶表示部

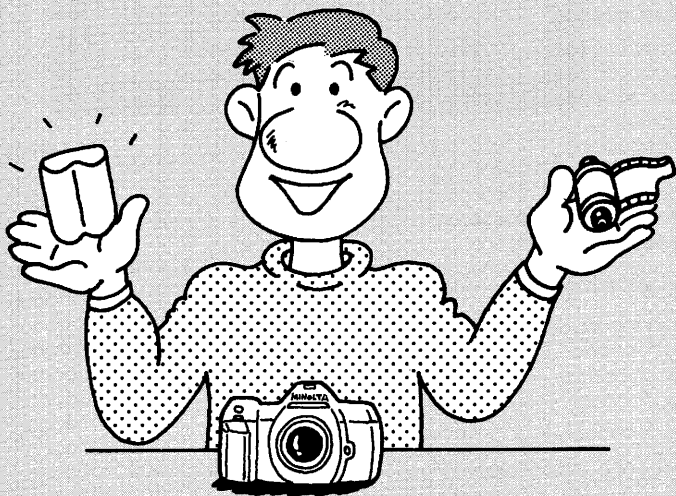
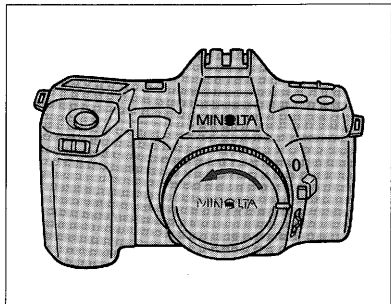
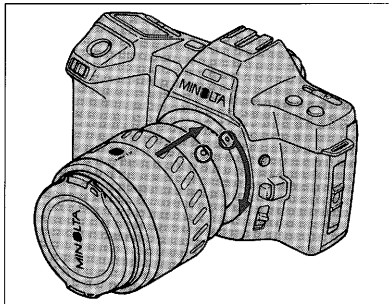
いずれも全情報を表示したもので、通常は必要な情報だけが表示されます。
なお警告時には、点滅してお知らせします(P.14 P.16 P.37)。
●暗いところでは、自動的に照明されます。

各々の説明は(　)内のページをご参照ください。

ボディ液晶表示部とファインダー内に表示されます。

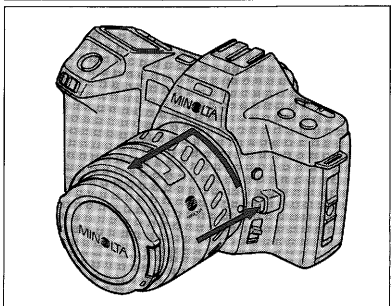
ファインダー内表示

撮影の準備をしましょう

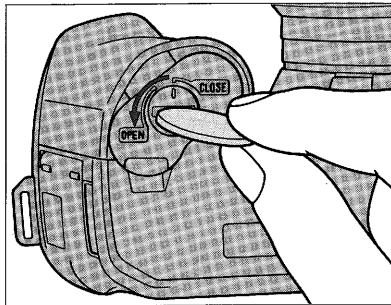
■レンズを取り付けます

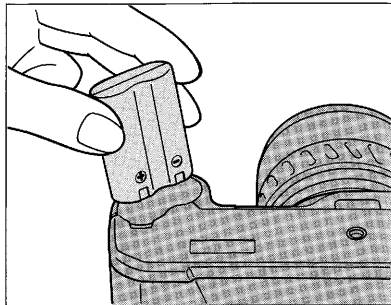
■電池を入れます〔電池のチェック・撮影可能本数〕

■フィルムを入れます

レンズを取り付けます

1 キャップを外します。

2 2つの赤点を合わせてはめ込み、カチリとロックがかかるまで回します。

● 電池がはいっていて、メインスイッチがONまたは•)))のときは、レンズが自動的に無限遠(∞)の位置まで駆動します。またオートフォーカスに設定されます。

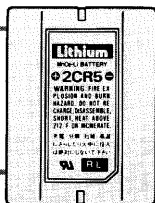
レンズを取り外すときは

レンズ交換ボタンを押したまま、止まるまで回して引き出します。

電池を入れます

1 電池室ふたを取り外します。

● コインを使って、電池室ふたロックをOPENの方へ回します。

2 電池室内のラベルにしたがって電池を入れます。

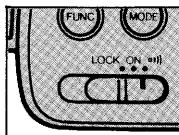
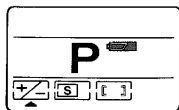
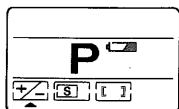
3 電池室ふたを取り付けます。

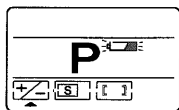
● コインを使って電池室ふたロックをCLOSEの方へ回します。

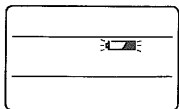
撮影可能本数…24枚撮りフイルムで約65本（連続撮影の場合は約200本）
※常温20°C、新品電池使用による

使用する電池…6Vパックリチウム電池

★6Vパックリチウム電池にも種類があります。必ず2CR5と表示されていることを確かめてお買い求めください。

● P.66の「リチウム電池について」を併せてお読みください。

電池のチェックをしましょう

メインスイッチをLOCKからONまたは ■))) にすれば、自動的に電池のチェックが行われます（何も表示されない場合は、電池の向きに誤りがないか確かめてください）。

①
電池容量は十分あります。
（5秒間点灯）

②
新しい電池を用意してください。
（5秒間点灯）

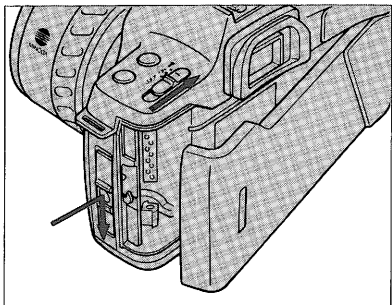
● 旅行など、長期間の撮影にでかけられる場合は、特に新しい電池のご用意をおすすめします。

③
新しい電池と交換してください。
（点滅）

● この状態でも④になるまでは撮影できます。

④
新しい電池と交換してください。
（点滅）

● ブザー音が鳴ります（約1秒間）。
● シャッターは切れません。

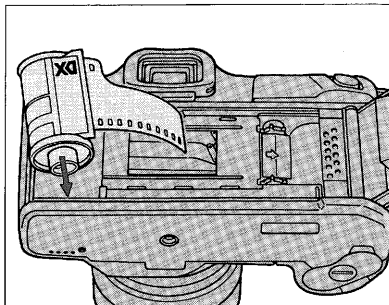
※③④は、シャッターボタンを軽く押したときにも表示されます。

フイルムを入れます

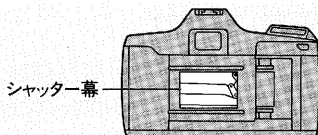
フイルムを入れて、裏ぶたを閉めてください。フイルム感度のセット(DXコード付きフイルムの場合)や、1コマ目までの巻き上げもカメラが自動的に行ないます。

1 メインスイッチをONまたは ■))) に。

● 電池のチェックが自動的に行なわれます(P.14参照)。

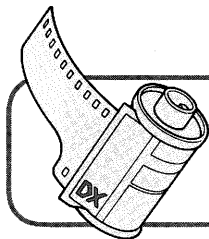
2 裏ぶたを開けます。

● 裏ぶた開放ボタンを押しながら、レバーを下げます。

3 フイルムを入れます。

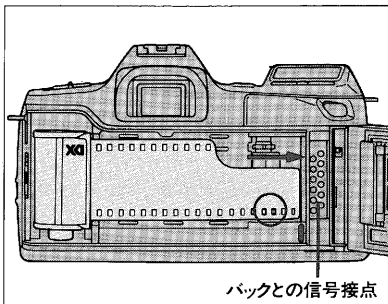
● カメラのななめ上から差し込みます。

● フイルムの容器を押さえながら、フイルムを引き出します。

★シャッター幕には手を触れたり、フイルムの先があたらないように注意してください。

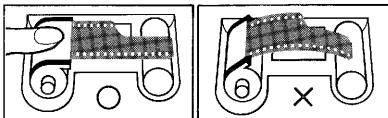
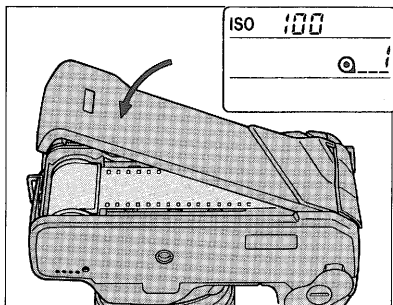
★フイルムの出し入れは、直射日光を避けて行なってください。

★初めてカメラをご使用になるときは、フイルムを入れる前に裏ぶたの内側についている保護シートを取り外してください。

フイルム感度は自動セット

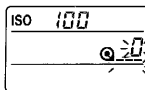
DXコード付きフイルムなら、フイルム感度(ISO)は自動的にセットされます。

● フイルム感度の確認および、DXコードがないフイルムの感度セットについてはP.46をご覧ください。

4 フイルムの先を赤指標に合わせて歯車とフイルムの穴をかみ合わせます。

● バックとの信号接点の上にフイルムの先がかからないようにしてください。

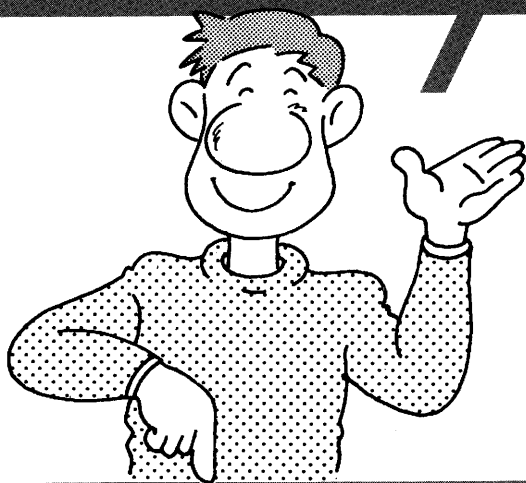
● 浮き上がらないようにフイルムをおさえてください。

フイルムのセット完了

5 裏ぶたを閉じます。

● フイルムカウンターが 1 になるまで、自動的に巻き上げられます。またフイルム感度(ISO)も表示されます(約5秒間)。

フイルムが正しく送られていない場合

ブザー音(約1秒間)と液晶表示による点滅でお知らせします。またシャッターも切れません。もう1度裏ぶたを開けて入れ直してください。

これで撮影の準備はOKです。

撮影する前に

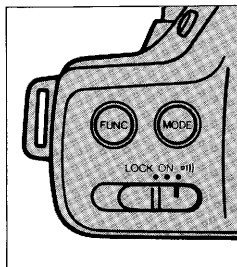
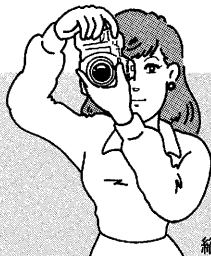
これだけは覚えておきましょう。

メインスイッチとブザー音について

撮影するときは、ON または •))) にしてください。

■ •))) では以下の場合にブザー音が鳴ってお知らせします。

- ●ピントが合ったとき（ピピッ）
- ●カメラぶれしやすいとき（ピピピ…P•Aモード撮影時）
- ●セルフタイマーが働いているとき（ピーピーピー…）

■ONでも以下の場合にブザー音が鳴ります。

- ●フイルムが正しく送られていない場合（ピー）
- ●電池容量がなくなったとき（ピー）

横位置

縦位置

カメラの構え方

撮影のとき、カメラが少しでも動くと、ブレた写真になりやすいのでしっかり構えてください。

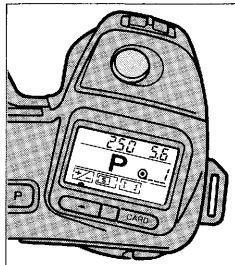
ポ　イ　ン　ト

■片目はアイピースカップにピッタリつけます。
■左手もカメラに添えて支えます。
■脇を締め、ひじを胸につけます。
■片足を軽く踏みだして、上半身を安定させます。
また、建物の壁にもたれたり、机等を利用して体やカメラを支えるのもひとつの方法です。

シャッターボタンについて

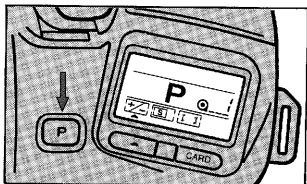
■軽く押すと…測光とオートフォーカスが同時に働きます。

● ボディ液晶表示部およびファインダー内に絞り値・シャッター速度が表示されます。指を離しても約5秒間表示されています。
● レンズが駆動してピントを合わせます。

■押し込むと…ピントが合えば、シャッターが切れます。

STEP 1

ここでは、フルオート機能を使った撮影方法をやさしく解説しています。初めてカメラをお使いになる方でも、スナップ、風景撮影などほとんどフルオートで撮影できます。
また、フラッシュを取り付けて撮影すれば、いつでも美しい写真が撮れます。

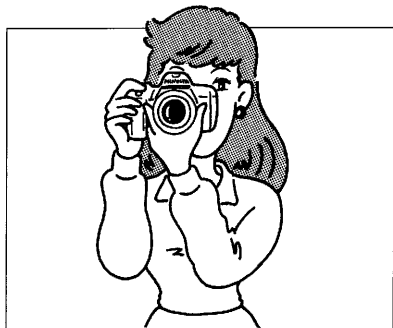
フルオートで撮影しましょう

プログラムセットボタンを押すだけで、どのような状態からでも、すべてカメラまかせのフルオートにセットされます。

フルオートとは…

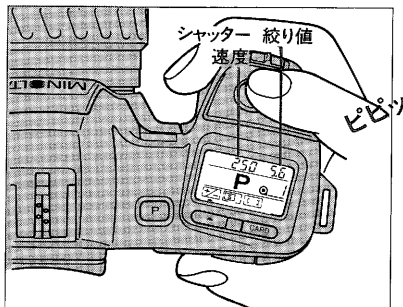
露出	被写体が適正露出になるよう自動的に絞りとシャッター速度を決定します(Pモード:プログラムAE)。
ピント合わせ	自動的にピントを合わせます(オートフォーカス)。
フラッシュ	専用フラッシュを取り付けていれば、撮影状況に応じてフラッシュが自動的に発光します(P.24参照)。

■ 同時に1コマ撮影、露出補正は±0、フォーカスエリアはワイドフォーカスエリアにセットされます。

■ 露出・絞り・シャッター速度については、P.31～P.32をご覧ください。

フルオートで撮影しましょう

1 カメラを構えて、ファインダー内をのぞきます。

2 被写体がフォーカスフレーム[　]に入るようにします。

● 被写体を画面のはしにして写したいときは、フォーカスロックをしてください(P.25参照)。

3 シャッターボタンを軽く押して、ピントを合わせます。

- ピントが合えばファインダー内に緑色のマークが点灯します（フォーカス表示参照）。
- メインスイッチが ■))) のとき、ピントが合えばピピッという短かいブザー音が鳴ります。
- ボディ液晶表示部とファインダー内にシャッター速度と絞り値が表示されます（上図参照）。

フォーカス表示（被写体により表示が異なります）

緑色マークの点灯	(◉)	静止被写体の場合	ピントが合っています
	●→(◉)→((◉))→(((◉)))	動いている被写体の場合	
赤色マークの点滅※	⋛●⋚		ピントが合いません

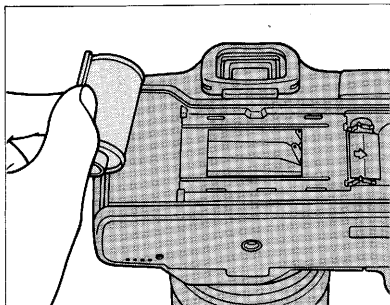
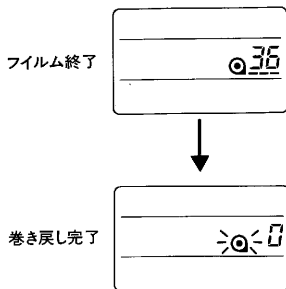
4 シャッターボタンを押し込みます。

- 動いている被写体の場合は、シャッターを切った直後にもレンズが駆動してピントを合わせることがあります。

★オートフォーカス撮影では、ピントが合っていない状態ではシャッターが切れません。
★高速高倍率の被写体の場合は、シャッターが切れないことがあります。

※レンズの最近接撮影距離より被写体が近い場合やフォーカスエリア内にオートフォーカスの苦手な被写体（P.29参照）がある場合に点滅します。

フイルムは自動的に巻き戻されます

巻き戻しは、フイルムの終了と同時に開始されます。

マークが点滅するまでお待ちください。

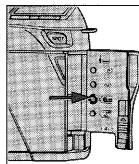
●巻き戻し中は、ボディ液晶表示部に最後のフイルム枚数が表示されたままで、巻き戻しが完了するとマークが点滅し、フイルムカウンターは 0 になります。モーターも自動的に停止します。

★巻き戻し途中で電池を交換したときは、カードホルダー内の途中巻き戻しボタンを押して、巻き戻しを再開させてください。

裏ぶたを開けてフイルムを取り出します。

★マークが点滅していることを確かめてください。

★フイルムの出し入れは直射日光を避けて行なってください。

フイルムの途中巻き戻し

1 カードホルダーを開けます。

2 途中巻き戻しボタンを押します。

●巻き戻しが開始されます。

フラッシュは自動的に発光します

α-7700iにプログラムフラッシュ3200iを取り付けていれば、次の場合にフラッシュが自動的に発光して、より美しい撮影ができます。

★プログラムフラッシュ4000AF・2800AF・1800AFおよびXシリーズのフラッシュについては、P.50をご覧ください。

STEP 1

○背景が極端に明るい場合

本機は、逆光になっている場合でも被写体を適正な露出にしますが、被写体と背景の明るさの差が極端に大きく、背景が白くとんでしまうような場合は、フラッシュが自動的に発光して被写体はもちろん背景も美しく描写します。(右写真参照)

○被写体が暗い場合

カメラぶれしそうな暗いところでも、フラッシュが自動的に発光します。

ファインダー内で自動発光をお知らせします

P ⚡ 60 5.6

●自動発光する場合、Pマークが点灯します。

★充電が完了したことを確認して撮影してください(⚡マーク点滅)。

フラッシュなしで撮影

フラッシュを取り付けて撮影

こんなことも簡単にできます。

フラッシュ撮影時、スポットボタンを押しながら撮影すると、フラッシュ光が届かない背景(夕景や夜景など)もきれいに描写します(P・A・Sモード撮影時)。

●この場合は、シャッター速度が低速になります。カメラぶれしないよう三脚等でカメラをしっかり固定してください。

スローシンクロ撮影

詳しくはフラッシュの使用説明書をご覧ください。

被写体を画面のはしにして写したいとき(フォーカスロック撮影)

右のように、フォーカスフレームから外れるような構図でそのまま撮影すると、背景にピントが合ってしまいますのでフォーカスロックを利用してください。シャッターボタンを軽く押したまま、カメラの向きを変えると一度合せた被写体にピントが固定されます(フォーカスロック)。

1 シャッターボタンを軽く押して、被写体にピントを合わせます。

● ピントが合っていることを確かめます(◉ マーク点灯)。

2 シャッターボタンを軽く押したまま、カメラの向きを変えて撮影します。

● フォーカスロック時、露出も固定されますので、つねに被写体は適正露出になります。

〈フォーカスホールドボタン付のレンズをご使用の場合〉

AFズーム70-210mm New、100-300mmなどのフォーカスホールドボタン付のレンズの場合は、このボタンを押している間そのときのピント位置が固定されます。このため、フォーカスホールドボタンでもフォーカスロック撮影ができます。

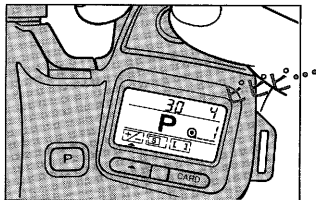
★動いている被写体の場合(P.22のフォーカス表示参照)、フォーカスロックはできません。

★カメラの向きを変えたときにピントを合わせた被写体より近い位置にあるものがフォーカスフレーム内に入ると、フォーカスロックがかからないことがあります。

★シャッターボタンから指を離せばフォーカスロックは解除されますので、何度でもやり直すことができます。

カメラぶれを防ぐには

被写体が暗く、シャッター速度が遅い場合は、いくらしっかり構えても、写真がぶれやすくなります。メインスイッチが ■))) のとき、シャッター速度が遅ければ、ピピピ…と連続したブザー音が鳴って警告しますので(P・Aモード撮影時)、カメラぶれを防いでください。

● ブザー音が鳴るシャッター速度は、レンズの焦点距離により異なります。

カメラぶれを防ぐには以下の方法があります。

■フラッシュを使います。

● 専用フラッシュを取り付けていれば、カメラぶれしそうな場合に、自動的に発光します。

■三脚を使います。

● フラッシュ光が届かない場合や、被写体を照明している光の雰囲気を活かして撮影したい場合は、三脚を使ってください。

■高感度フイルムを使います。

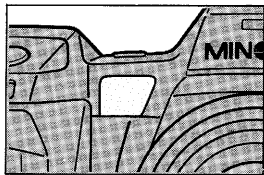
● 感度の高いフイルム※を使用すれば、より速いシャッター速度が得られます。

※ISO数値が大きいほど感度が高くなります。

例　ISO100………400………1000

ただし感度が高くなるほど、少しずつ写真の粒子は荒くなります。

AF補助光について

被写体が暗く、明暗差(コントラスト)が低い場合は、自動的に赤色光を照射してピントを合わせます。

● AF補助光機能による測距可能範囲は、暗闇では約1～9m、明るい室内では約1～4mが目安です(50mm標準レンズ使用時 当社試験条件による)。

★指などで補助光発光部をさえぎらないように注意してください。

★AF補助光は、使用レンズの焦点距離が210mmを超えると発光しません。このためオートフォーカスによるピント合わせができない場合は、手動によるピント合わせ(P.45参照)を行なってください。

データ写し込み撮影(α-7700iクォーツデート)

α-7700iクォーツデートは日付け、または時間を写し込むことができます。

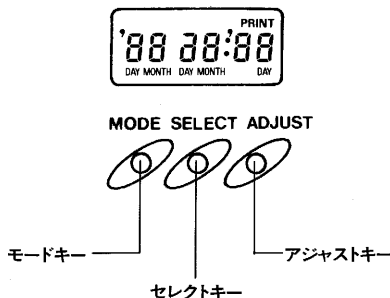
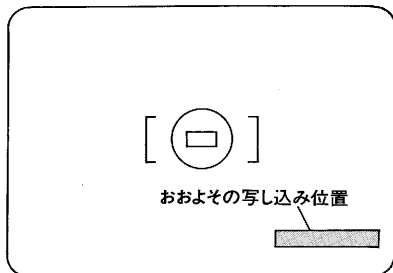
各部の名称

写し込み位置

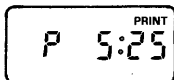
写し込みの設定

モードキーを押して写し込みたいデータを選びます。

(注1)24時間制で表示　(注2)12時間制で表示(Aは午前・Pは午後)

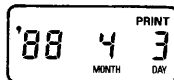
- モードキーを押すごとに、→の順に表示が切り替わります。
- 時間を表示しているとき、アジャストキーを2～3秒押し続けると、日時分と午前/午後 時分の切り替えができます。
- 時間以外のモードが表示されている場合でも、アジャストキーを押せば、押している間だけ時間を表示させることができます。
- 2009年12月31日までの日付けが記憶されていますので、撮影のたびにセットする必要はありません。
- 撮影直後、PRINTが2～3秒間点滅してデータを写し込んだことを示します。

★キーの操作は爪先で行なってください。
★写し込み位置にオレンジ色や白・黄などの明るい色のものがあると、データが読みにくくなります。
★ISO32～1600のフイルムをご使用ください。それ以外のフイルムでは、データをきれいに写し込めないことがあります。
★写し込み文字濃度は、フイルムの種類(メーカー、フイルム感度等)や温度条件等により若干の差を生じることがあります。
★本機の温度が0℃以下または50℃以上になるところでは、データをきれいに写し込めないことがあります。
★一般撮影用フイルムと特性の異なる複写用フイルム・ポラロイド35㎜スライド用フイルムや赤外フイルムには、データをきれいに写し込むことができませんので、写し込みなしの状態で撮影してください。

データの修正

PRINT
P 5:25

〈内蔵時計の0秒スタート〉

1 セレクトキーを押して、コロン（:）を点滅させます。

2 時報に合わせてアジャストキーを押します。これにより内蔵時計が0秒からスタートします。

- 内蔵時計が30〜59秒のときに押すと、分表示が1つ進みます。

〈日付け・時間の修正〉

1 セレクトキーを押して、修正したい数値を点滅させます。

2 アジャストキーを押してセットします。

- 押し続けると早送りします。

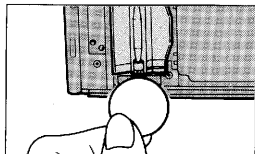
3 修正が終わったら、モードキーを押します。

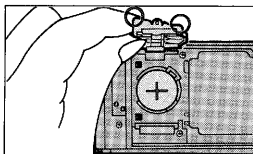
- 文字の点滅が止まり、「PRINT」表示が出て、写し込み可能となります。

電池の交換

写し込んだ文字が薄かったり、液晶表示全体が点滅している場合は、新品電池と交換してください。

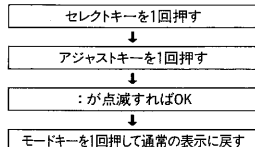
●3Vリチウム電池（CR2025）を使います。 ●電池寿命は約4年です（当社試験条件による）。

★電池交換後は、データを修正してください。

1 電池室ふたを開けます。

- 溝にコイン状のものを差し込み、押し上げて取り外します。

2 電池を交換し、電池室ふたを取り付けます。

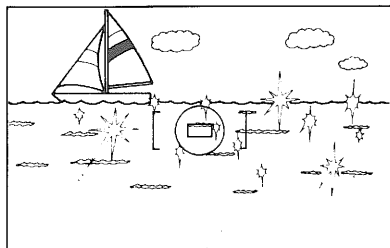
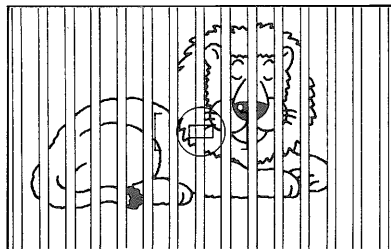
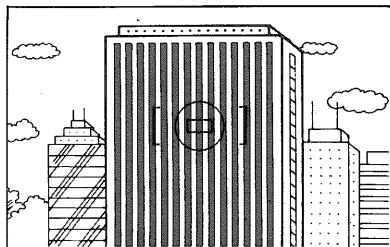
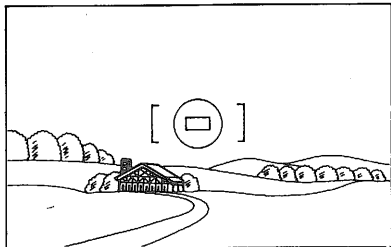
- 電池は⊕側を上に向けて入れます。
- 電池室ふたは、上部を差し込んでから、下部の左右のツメ○印が完全に入るように押し込みます。

3 正しく作動しているか確かめます。

セレクトキーを1回押す
↓
アジャストキーを1回押す
↓
：が点滅すればOK
↓
モードキーを1回押して通常の表示に戻す

- 表示が何も出ないときや正しい表示が出ないときは、電池の向きが間違っているか電池が完全に消耗しています。

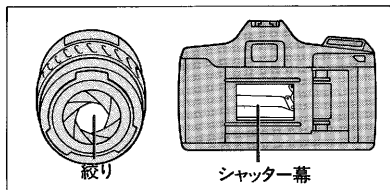
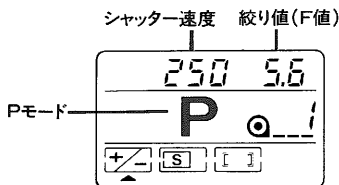
オートフォーカスの苦手な場合

本機のAFシステムは、ほとんどの被写体にピントが合う非常に精度の高いものですが、フォーカスエリア内に次のような被写体がある場合は、ピント合わせができないことがあります。このような場合は、手動によるピント合わせをしてください(P.45参照)。

太陽のように明るすぎる被写体や車のボディ、
水面など反射している被写体

遠くと近くに共存する被写体

繰り返しパターンの連続する被写体

青空など遠くて(AF補助光の届かない)、
明暗差(コントラスト)のない被写体

STEP 2

ここでは、一眼レフならではの機能を生かした個性的な撮影のための操作方法を解説しています。
操作はとても簡単です。気軽にチャレンジしましょう。

これだけは知っておきましょう

絞りとシャッター速度の組み合わせにより、露出が調節されています。

フルオート撮影では、シャッターボタンを軽く押すとボディ液晶表示部とファインダー内に絞り値とシャッター速度が表示されています。
この絞り値・シャッター速度の関係について簡単に説明しましょう。
一眼レフの場合、レンズ内部の絞りの大きさ(絞り値)とフイルム前面にあるシャッター幕の開いている時間(シャッター速度)でフイルムに当たる光の量が調整されています。

本機のPモード(プログラムAE)は、被写体の明るさに応じて適正露出にするだけでなく、レンズの焦点距離も考慮して、最適な絞りとシャッター速度の組み合わせを決定するという大変便利なものです。
しかしこの絞りの大きさやシャッター速度により、写真のイメージが大きく変わります。

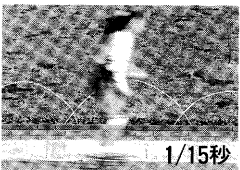
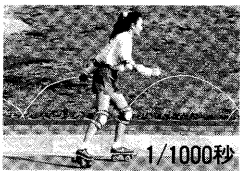
露出オーバー　適正露出　露出アンダー

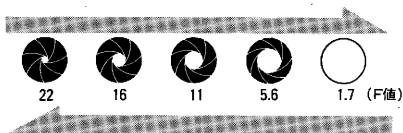
絞りの大きさやシャッター速度を変えると写真のイメージが大きく変わります。

F4.5

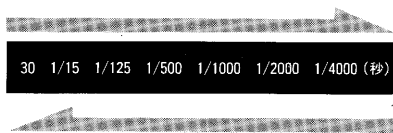
F22

1/1000秒

1/15秒

絞りの効果

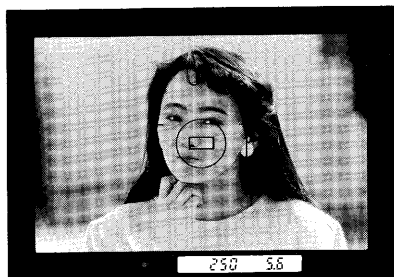
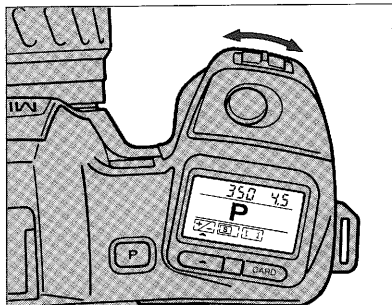
絞り値を小さくするほど（絞りを開けるほど）、背景がボケてピントを合わせたものだけがはっきり写ります（被写界深度が浅い）。

絞り値を大きくするほど（絞りを絞り込むほど）、ピントを合わせたものの前後もはっきり写ります（被写界深度が深い）。
※被写体深度については、P.47をご覧ください。

シャッター速度の効果

シャッター速度を速くするほど、動いているものが静止して写ります。

シャッター速度を遅くするほど、動いているものが流れるように写ります。

絞りやシャッター速度による効果は、プログラムシフト機能またはAモード（絞り優先AE）、Sモード（シャッター速度優先AE）撮影などで気軽に楽しむことができます。

プログラムシフト機能

Pモードで撮影中、好みの絞りまたはシャッター速度で撮影したいと思った場合、適正露出のまますばやい操作で絞りとシャッターの組み合わせを切り替えることができるのがプログラムシフト機能です。

1 希望の構図にしてシャッターボタンを軽く押し、ファインダー内で絞り値とシャッター速度を確認します。

2 アップダウンレバーをスライドさせて、希望する絞り値またはシャッター速度を選びます。

★画面の明るさが変わると、絞り値とシャッター速度の組み合わせが変わってしまいますので、ファインダー内の液晶表示を見ながらプログラムシフトをしてください。

★プログラムシフトは、シャッターボタンから指を離してから約5秒後(液晶表示が消えるのと同時)に解除されます。

★プログラムシフトを保持したい場合は、撮影後もシャッターボタンを軽く押し続けてください。

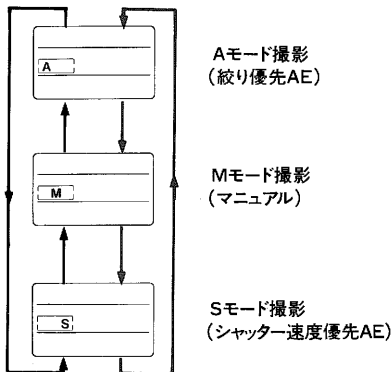
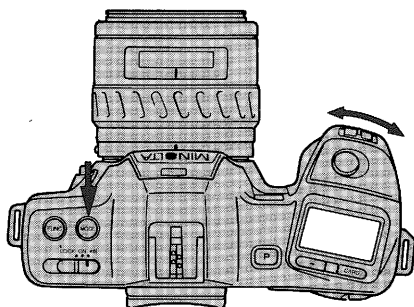
★フラッシュ撮影時、プログラムシフトはできません。

撮影モードの設定

モードボタンを押しながら、アップダウンレバーをスライドさせて、
希望の撮影モードを選びます。

Aモード撮影
(絞り優先AE)

Mモード撮影
(マニュアル)

Sモード撮影
(シャッター速度優先AE)

STEP 2

〔プログラムセットボタンについて〕

プログラムセットボタンを押せば、どのような状態からでも瞬時に以下のようにセットされます。

①撮影モードはPモード(プログラムAE)
②フラッシュは自動発光
③ピントはオートフォーカス
④1コマ撮影
⑤フォーカスエリアはワイドフォーカスエリア
⑥露出補正値は±0

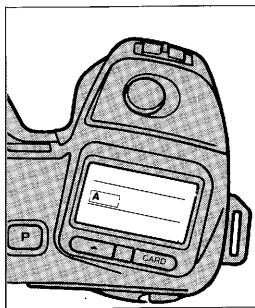
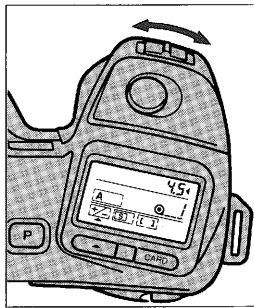
- 右にスライドさせると、→の方向に切り替わります。
- 左にスライドさせると、←の方向に切り替わります。
- Mモード撮影については、STEP3(P.41～P.42)をご覧ください。
- AEとは自動露出(Auto Exposure)の略です。

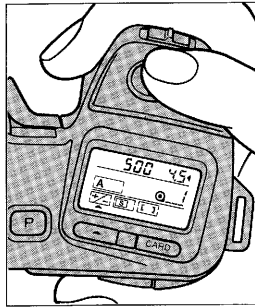
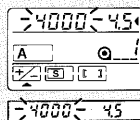
〔撮影モードだけをPモードに設定したい場合〕

モードボタンを押しながら、プログラムセットボタンを押します。

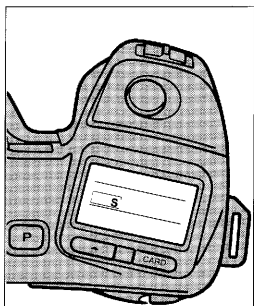
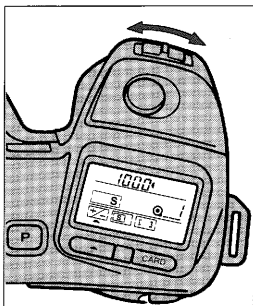
- このとき、③～⑥はリセットされません。

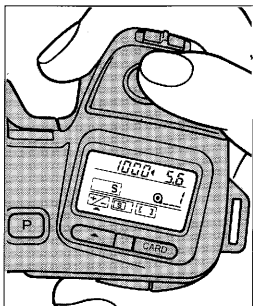
Aモード撮影(絞り優先AE)

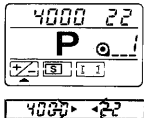
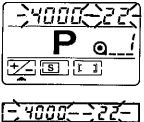
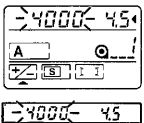
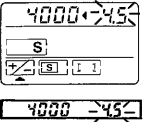
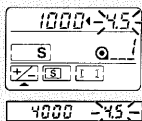
Aモード撮影では、自由に絞り値が選べますので、ポートレート撮影・クローズアップ撮影などに効果的です。しかも適正露出になるようカメラがシャッター速度を自動的に決定します。

1 Aモードにセットします(P.34参照)。

2 アップダウンレバーをスライドさせて、希望する絞り値をセットします。

- ◀マークにより、絞り値がセットできることを示します。
- 絞り値の範囲は、レンズの開放から最小絞り値の範囲ですので、レンズにより異なります。

3 シャッターボタンを軽く押して、自動設定されたシャッター速度を確認します。

★シャッター速度が点滅している場合は、適正な露出が得られませんので、点滅しないよう絞り値を変更してください。

Sモード撮影(シャッター速度優先AE)

Sモード撮影では、自由にシャッター速度が選べますので、動きのあるスポーツ撮影などに効果的です。しかも適正露出になるようカメラが自動的に絞り値を決定します。

1 Sモードにセットします
(P.34参照)。

2 アップダウンレバーをスライドさせて、希望するシャッター速度をセットします。

- ◀マークにより、シャッター速度がセットできることを示します。
- 本機のシャッター速度の範囲は、1/4000秒〜30秒です。

3 シャッターボタンを軽く押して、自動設定された絞り値を確認します。

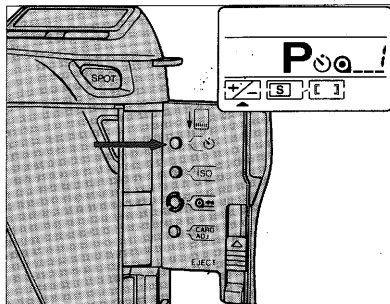
STEP 2

★Sモードでは"bulb"は使用しないでください。Mモードでセットしてください。

★絞り値が点滅している場合は、適正な露出が得られませんので、点滅しないようシャッター速度を変更してください。

露出の警告

各撮影モードでボディ液晶表示およびファインダー内表示が次のように点滅する場合、以下のようにしてください。

撮影モード	液晶表示	原因	処置
P・A・S・M	例	被写体が明る過ぎまたは暗過ぎてカメラの測光範囲を越えています。	被写体が明る過ぎるとき…NDフィルターを使用するか、被写体の明るさを減らすようにします。 被写体が暗すぎるとき…フラッシュ撮影を行なうか、被写体の明るさを増すようにします。
P	例	被写体が明る過ぎまたは暗過ぎて使用レンズの絞り値とシャッター速度の範囲（1/4000秒〜30秒）を越えています。	
A	例	被写体が明る過ぎまたは暗過ぎてシャッター速度の範囲（1/4000秒〜30秒）を越えています。	シャッター速度が点滅しないよう絞り値を変更します。
S	例	被写体が明る過ぎまたは暗過ぎて使用レンズの絞り値の範囲を越えています。	絞り値が点滅しないようシャッター速度を変更します。

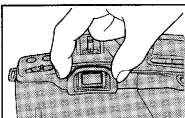
セルフタイマー撮影

セルフタイマーが作動してから、10秒後にシャッターが切れます。なお、撮影終了後、セルフタイマーは自動的に解除されます。

1 カードホルダーを開けます。

2 セルフタイマーボタンを押します。

- セルフタイマーマークが点灯します。
- 三脚等を利用してカメラをしっかり固定します。
- ファインダーから目を離してシャッターを切るときは、逆入光を防止するために、ストラップに付いているアイピースキャップを接眼部に取り付けられることをおすすめします。

1.アイピースカップを取り外します。

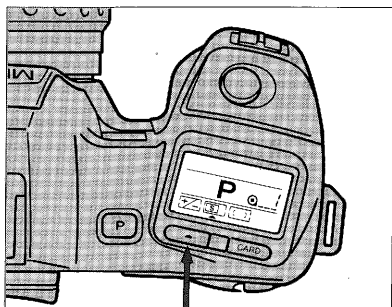
2.アイピースキャップを上から差し込みます。

3 ピントを合わせてからシャッターボタンを押し込みます。

- セルフタイマーが作動します。
- セルフタイマー作動中は、カメラ前面のセルフ作動表示ランプが点滅します。
- メインスイッチが ■))) のときはブザー音(ピーピーピー…)が鳴ります。
- いずれの方法でもセルフタイマーを途中解除することができます。
  ■メインスイッチをLOCKにします。
  ■プログラムセットボタンを押します。

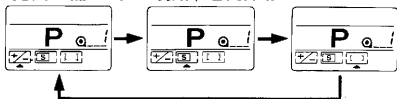
★いっきにシャッターボタンを押し込まないでください。ピントが合う前にセルフタイマーが作動してしまいます。

露出の補正・1コマ撮影/連続撮影・フォーカスエリアの設定

1コマ撮影と連続撮影の切り替えや、フォーカスエリアの大きさが選べます。

〔露出の補正についてはSTEP 3(P.43)をご覧ください。〕

1 セレクトキーを押して、変更したい機能を選びます。

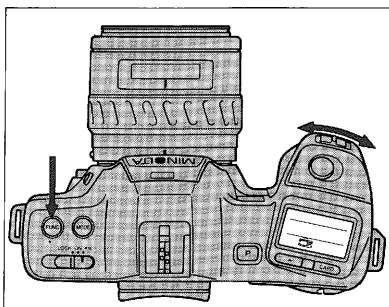
●押すごとに▲マークが移動します。

露出の補正　1コマ撮影/連続撮影　フォーカスエリア

●1コマ撮影 [S]

シャッターボタンを押すごとに1コマシャッターが切れます。

●連続撮影 [□]

シャッターボタンを押している間、1コマごとにピントを合わせながら連続してシャッターが切れます(最高3コマ/秒)。

★ピントが合うと同時にシャッターが切れますので、被写体がフォーカスフレームから外れないようにしてください。

2 ファンクションボタンを押しながら、アップダウンレバーをスライドさせて選びます。

●[+/-]の場合、露出の補正値が選べます。(P.43参照)。

●[S]の場合、1コマ撮影([S])または連続撮影([□])が選べます。

●[ ]の場合、ワイドフォーカスエリア([ ])またはスポットフォーカスエリア([▪])選べます。

●ワイドフォーカスエリア [ ]

ワイドなフォーカスエリアですので、被写体がとらえやすくスナップ感覚で撮影できます。

●スポットフォーカスエリア [▪]

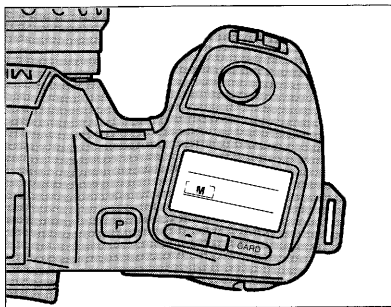
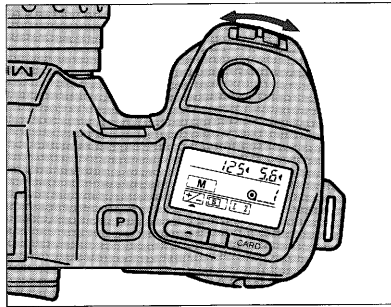
クローズアップ撮影などで部分的なところにピントを合わせたいときに便利です。また、人ごみの中の特定の人物にピントを合わせたいときにもお使いください。

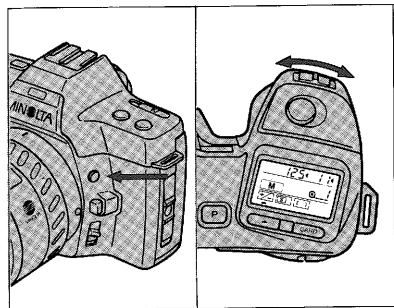
●ファインダー内にも [▪] マークが点灯します。

STEP 3

より高度な撮影テクニックを求める方へ

Mモード(マニュアル)撮影

Mモードでは、絞りとシャッター速度の双方を自由に選ぶことにより、好みの露出で撮影することができます。また、単独の露出計を用いての撮影に便利です。

1 Mモードにセットします
(P.34参照)。

2 アップダウンレバーをスライドさせて希望のシャッター速度をセットします。

● ◀マークにより、シャッター速度と絞り値がセットできることを示します。

3 ボディ側部のマニュアル絞りボタンを押しながら、アップダウンレバーをスライドさせて希望の絞り値をセットします。

〔ファインダー内で露出がわかります〕

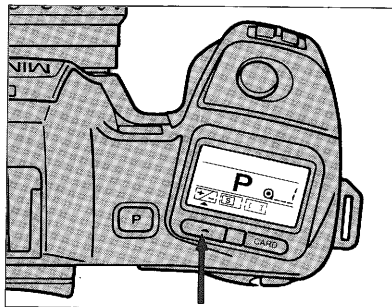
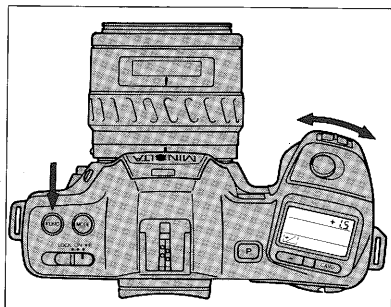
● シャッターボタンを軽く押すと、ファインダー内で露出を確認することができます。

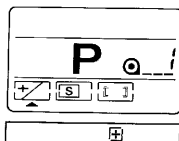
	露出オーバーです	適正露出です	露出アンダーです
シャッター速度設定時	90▸⊞ 11	125▸ ◂11	250 ⊟◂11
絞り値設定時	125 ⊞◂9.5	125▸ ◂11	125▸⊟ 13

● ▶または◀マークの方向にアップダウンレバーをスライドさせると、カメラが判断した適正露出に近づきます（絞り値設定時は、マニュアル絞りボタンを押しながら、スライドさせてください）。

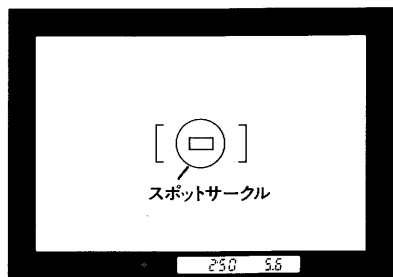
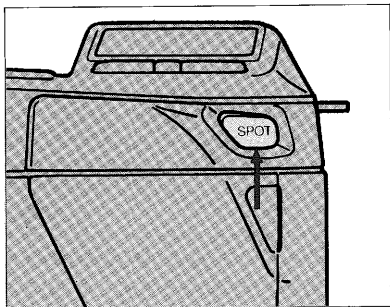
● カメラの測光範囲を越えている場合は、▶◀マークが点滅します。

露出の補正

画面全体を意識的に露出オーバーにしたり、露出アンダーにするときに使用します(P・A・Sモード撮影時)。

1 セレクトキーを押して、[+/−]マークの下に▲マークを点灯させます。

2 ファンクションボタンを押しながら、アップダウンレバーをスライドさせて希望する補正値に設定します。

- +は露出がオーバーになり、−は露出がアンダーになります。
- 補正は−4.0から+4.0まで0.5段ごとに補正できます。
- フラッシュ撮影時も露出補正ができます。

- 設定後も、露出補正中であることを示します。

スポット測光

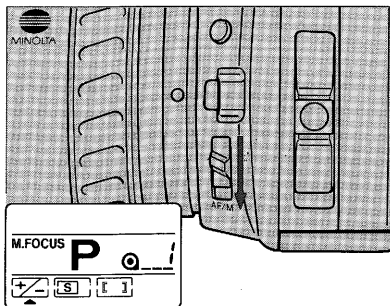
スポットボタンを押すと、ファインダー内のスポットサークル内だけを測光することができます。画面内の特定な部分を測光して撮影したい場合に使用します。

1 スポットサークルを測光したい部分に合わせて、ピントを合わせます。

2 スポットボタンを押したまま、希望の構図にして撮影します。

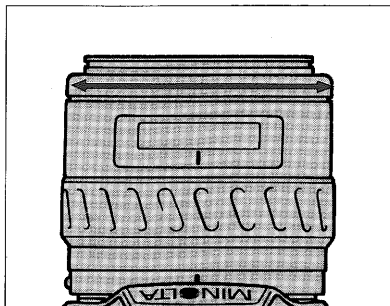
- ファインダー内に ■ マークが点灯します。
- スポットボタンを押している間、露出は固定されますので、構図を変えてもそのままの露出で撮影することができます。
- 測光したい部分とピントを合わせたいものが異なる場合は、スポットボタンを押したままピントを合わせなおしてください。
- スポット測光時、プログラムシフトおよび絞り値やシャッター速度の変更も可能です。

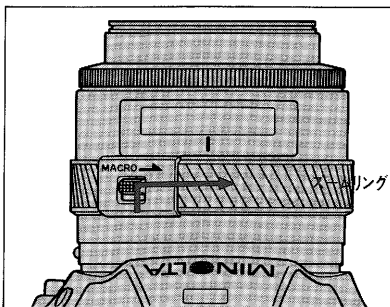
★フラッシュ撮影時は、スローシンクロ撮影となります（P.24参照）。

手動によるピント合わせ

次のような場合は、手動によるピント合わせをしてください。

■オートフォーカスの苦手な被写体を撮影する場合

1 フォーカスモードスイッチを押し下げます。

- ボディ液晶表示部にM.FOCUSと表示されます。
- もう1度押し下げると、AFに戻ります。

2 被写体がはっきり見えるように距離リングを回してピントを合わせます。

■マクロ機構付きズームレンズでクローズアップ撮影をする場合

①マクロ切り替えレバーを押しながら、ズームリングを回してマクロ域にセットします。

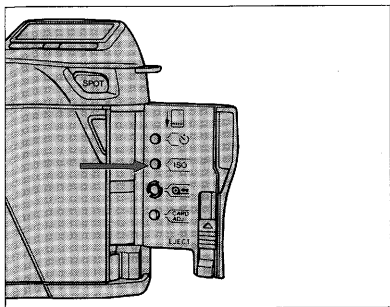
- フォーカスモードスイッチはAFのままでもかまいません。

②被写体がはっきり見えるようにズームリングを回してピントを合わせます。

- ピントが合えば緑色の(•)マークが点灯します。

★詳しくは、レンズの使用説明書をご覧ください。

フィルム感度の合わせ方

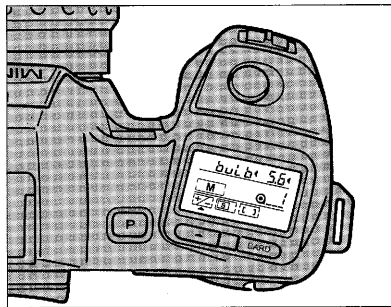
DXコードのないフイルムの場合は、次のようにセットします。

1 カードホルダーを開けます。

2 ISOボタンを押します。

3 アップダウンレバーをスライドさせてフイルム感度(ISO)をセットします。

- 設定できるフイルム感度は25〜6400までです。
- 設定5秒後に、フイルム感度表示は消えます。
- 撮影時、ISOボタンを押せば、いつでもセットされているフイルム感度を確認することができます。
- DXコード付きフイルムでフイルム感度を変更する場合は、フイルムを入れ替えるごとにフイルム感度をセットしなおしてください。

バルブ撮影

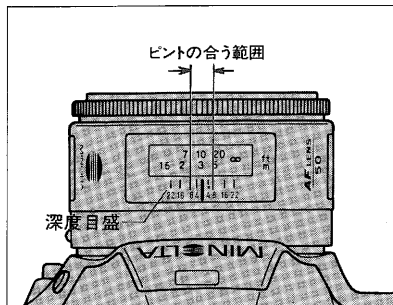
シャッターボタンを押している間、シャッターが開いたままになりますので、天体撮影など長時間の露出が必要なときに使用します。

1 Mモードにセットします(P.34参照)。

2 シャッター速度をbulbにセットします。

3 希望の絞り値をセットします。

- リモートレリーズターミナルにリモートコードRC-1000S/L(別売)を取り付ければ、カメラぶれを防ぐとともに、シャッターを開けたままロックすることができるので便利です。

★三脚取り付けねじ穴の深さ5.4mmより長い三脚ねじを使うと、カメラの内部機構を破損するおそれがありますので、注意してください。

被写界深度の読み取り方

単焦点レンズの場合、レンズに左図のような深度目盛が表示されています(左図は50mm標準レンズ)。たとえば撮影距離が3mで、絞りをF8に合わせて撮影すると ┃ マークの両側にある、8の範囲内(約2.5〜4.5m)のものは、だいたいはっきり写ることがわかります。深度目盛は目測でピントを合わせてスナップ撮影するときや、絞り効果を生かして撮影するときに利用すると便利です。

● ズームレンズには被写界深度目盛はありません。

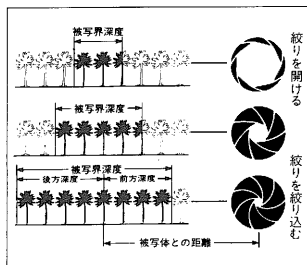
被写界深度について

ある被写体にピントを合わせたとき、ピントを合わせた被写体はもちろん、その前後にもはっきり写る範囲があります。この範囲を被写界深度と呼び、範囲が広いときに深度が深いといい、範囲が狭いときに深度が浅いといいます。

被写界深度には、次のような性質があります。

①絞りを絞り込む(絞り値を大きくする)ほど被写界深度は深くなり、はっきり写る範囲が広がります。

②同じ絞りなら広角レンズになるほど被写界深度は深くなります。

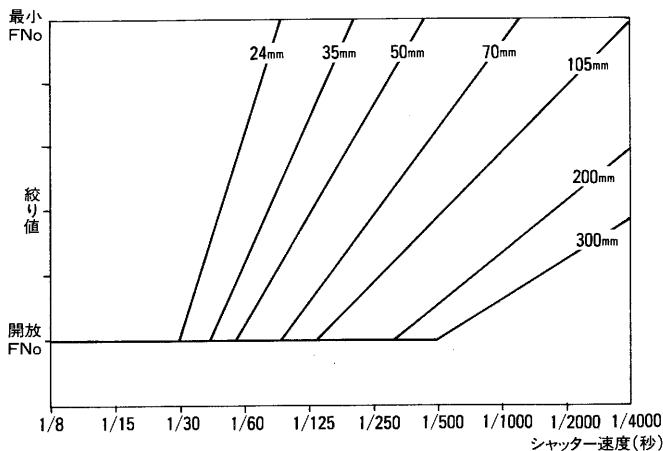
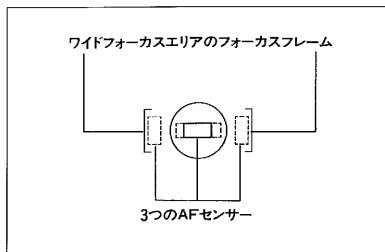
③ピントを合わせた被写体の前方深度は浅く、後方深度は深くなります。

プログラムラインについて

このカメラは、使用レンズの焦点距離に応じて、きめ細かく最適な絞り値・シャッター速度を設定します。

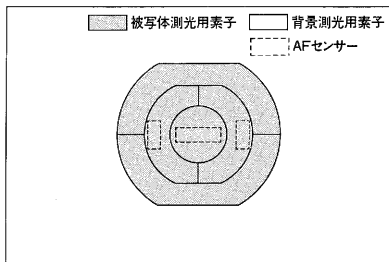
ズームレンズの焦点距離を変えたときも、自動的にプログラムラインが切り替わります。

〔プログラムラインの特長〕

- できるだけカメラぶれしないよう、レンズの焦点距離に応じて絞り値とシャッター速度の組み合わせを設定します。
- 広角側では、はっきり写る範囲が広くなるように絞りを絞り気味にします。
- 望遠側では、被写体がブレないようにシャッター速度を高速気味にし、絞りを開けて背景をボカします。

STEP 3

オートフォーカスについて

■このカメラのオートフォーカスは、被写体がとらえやすくスナップ感覚で撮影できるワイドフォーカスエリアと部分的なところにピントを合わせるときに便利なスポットフォーカスエリアを切り替えて使うことができます。上図のように3つのAFセンサーが配置されており、ワイドフォーカスエリアで撮影する場合は3つのAFセンサー、スポットフォーカスエリアで撮影する場合は中央の1つのAFセンサーからの測距データをもとにピント合わせを行ないます。

■このカメラは、シャッターボタンを軽く押している間、一定間隔ごとに測距をしており、その情報をもとに、被写体が静止しているか動いているかを自動的に判別します。被写体が動いている場合は、レンズを連続的に駆動させて常に被写体にピントを合わせ続けます。
さらに、一定間隔ごとの距離情報をもとに、被写体のスピードを検出してシャッターを切った瞬間(フイルムに像が写る瞬間)の、被写体が来るべきピント位置を予測してピントを合わせます。この制御のためこのカメラはシャッターを切った直後にもレンズが駆動することがあります。

測光方式について

■このカメラは上の図が示すように多分割(6分割)測光によって得た測光データだけでなく、オートフォーカスによって得た情報も加えて被写体と背景の明るさの差を自動的に判別して露出を制御しています。つまりオートフォーカスの結果、被写体までの距離とレンズの焦点距離により被写体(人物)の大きさと位置が推測できますので、この情報と多分割測光に得た情報をもとに独自の演算を行い、被写体が適正露出になるよう露出を制御しています。
したがって、フォーカスロックをした場合でもピントを合わせた被写体を適正露出にします。またスポットボタンを押した場合は、中央の円の部分の測光エリアからの情報のみを使って測光を行ないます。

フラッシュ撮影について

(1)専用フラッシュによる撮影

ミノルタプログラムフラッシュ3200iをお使いになれば簡単にフラッシュ撮影ができます。

Pモード・Sモードフラッシュ撮影

フラッシュをAUTO ONにしておけば、被写体が暗いときや逆光のときなどフラッシュが必要な場合、自動的に発光します。
フラッシュが必要かどうかはカメラが判断し、さらにシャッター速度と絞り値も被写体と背景の明るさをもとに自動的にセットされます。また、フラッシュはダイレクト測光により自動調光されますので、いつでも簡単に美しいフラッシュ撮影ができます。
さらにスポットボタンを使うと、スローシンクロ撮影も簡単に行えます。

Aモードフラッシュ撮影

絞り値を自由に選んでフラッシュ撮影ができます。被写界深度(P.47参照)や調光距離(絞りを開けるほど遠くまで届く)、発光間隔(一般に絞りを開けるほど充電時間は短い)を考慮した撮影ができます。フラッシュをONにしておけば同調速度(1/125秒)にセットされ、フラッシュはダイレクト測光により、自動調光されます。
さらにスポットボタンを使うと、日中シンクロ撮影、スローシンクロ撮影も簡単に行なえます。

Mモードフラッシュ撮影

絞り値とシャッター速度(1/125秒～30秒)を自由に選んで撮影できます。フラッシュはダイレクト測光により自動調光されます。

★コントロールグリップCG-1000セットは、使用できません(フラッシュの制御が正しく行なわれません)。使用される場合は、プログラムフラッシュ4000AF、2800AFと組み合わせてご使用ください。

詳しくはフラッシュの使用説明書をご覧ください。

(2)プログラムフラッシュ4000AF/2800AF/1800AFによるフラッシュ撮影

フラッシュシューアダプターFS-1100(別売P.54参照)を介して取り付けてください。

Pモード・Sモードフラッシュ撮影

フラッシュの電源スイッチをONにしてご使用ください。
シャッター速度と絞り値が自動的にセットされ、フラッシュはダイレクト測光により自動調光されます。
なお、被写体が暗いときや逆光などによるフラッシュの自動発光は行なわれません。

Aモードフラッシュ撮影

フラッシュの電源スイッチをONにしてご使用ください。
同調速度(1/125秒)にセッされ、フラッシュは選んだ絞り値に応じてダイレクト測光で自動調光されます。

Mモードフラッシュ撮影

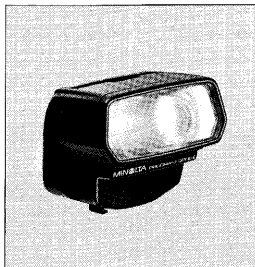
フラッシュの電源スイッチをONにしてご使用ください。
絞り値とシャッター速度(1/125秒～30秒)を自由に選んで撮影できます。フラッシュはダイレクト測光により自動調光されます。

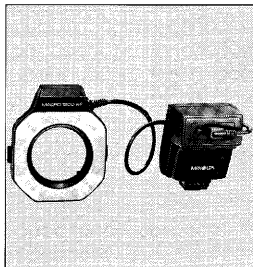
★いずれの場合もフラッシュのAF補助光は発光しません。
★プログラムフラッシュ4000AF使用時、フラッシュの液晶表示上の調光距離範囲が実際の遠距離限界表示より大きい値を示すことがあります。遠距離限界表示付近で撮影した場合は露出アンダーになることがありますので、必ず調光確認を行なってください。

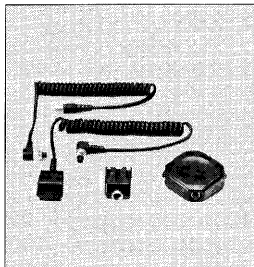
(3)Xシリーズフラッシュ

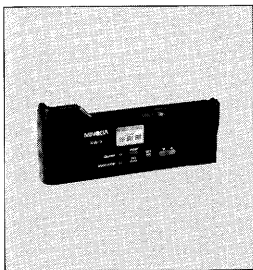
360PX,280PX等のXシリーズフラッシュおよびそれ以前のフラッシュは使用できません。

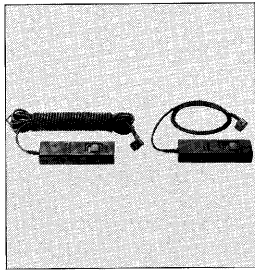
システムアクセサリーの紹介

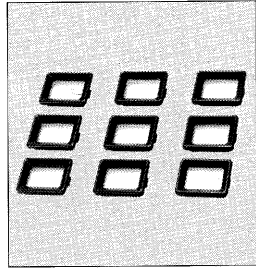
プログラムフラッシュ3200i

多彩なフラッシュ撮影が簡単に行なえるオートエレクトロフラッシュです。照射角をレンズの焦点距離に応じて自動的に調節するオートズーム方式などを備えています。

マクロフラッシュ1200AFセット-N

簡単に近接フラッシュ撮影ができるオートエレクトロフラッシュです。1灯から4灯まで発光部を選べる選択発光方式などを備えています。
フラッシュシューアダプターFS-1100付。

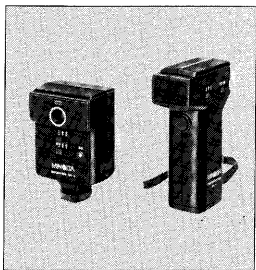
オフカメラ用アクセサリー

プログラムフラッシュをカメラから離して自由な位置から照明できるアクセサリーです。

プログラムバックPB-7

α-7700i用の多機能データバックです。6種類のデータ写し込み機能、AFによるインターバル撮影機能などを備えています。

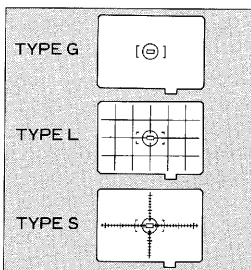
リモートコードRC-1000S/L

カメラぶれを防止したいときの必需品としてだけでなく、オートフォーカスの遠隔作動もできるリモートコードです。
Sは50cm、Lは5m。

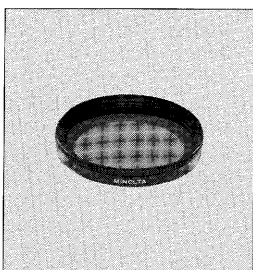
視度調整アタッチメント1000

近視あるいは遠視の方に、−4ディオプターから+3ディオプターまでの9種類が用意されています。

システムアクセサリーの紹介

ワイヤレスコントローラーIR-1Nセット

α-7700iを、離れた場所から操作できるコントロール装置です。最高60mまで可能です。

※受信機をα-7700iに装着するにはフラッシュアダプターFS-1100が必要です。また、送信機側の操作では、AF機能は働きません。

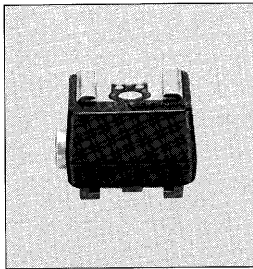
フォーカシングスクリーン7

用途に応じてα-7700iのフォーカシングスクリーンを交換することができます。

円偏光フィルター

水面やガラス面の不要な反射光を取り除いたり、青空を鮮やかに写すためのフィルターです。72・55・49mm径用の3種類があります。

ホールディングストラップHS-7

より安定したホールディングが得られます。

※アクセサリーベースAB-700（別売）との組み合わせが必要です。

フラッシュシューアダプターFS-1100

次のアクセサリーをα-7700iに取り付けるためのアクセサリーです。

■プログラムフラッシュ4000AF/2800AF/1800AF

★自動発光およびフラッシュ内蔵のAF補助光は発光しません。

■マクロフラッシュ1200AFセット

■ワイヤレスコントローラーIR-1Nセット

■データレシーバーDR-1000

カメラケース

取り付けるレンズに応じてお選びください。

ケース名	最大径	長さ
カメラケースCH-800※	70mm以下	60mm以下
カメラケースCH-800L※	80mm以下	60〜100mm
ソフトケースCS-700S	80mm以下	70mm以下
ソフトケースCS-700M	80mm以下	70〜110mm
ソフトケースCS-700L	90mm以下	110〜170mm

※アクセサリーベースAB-800付、α-8700*i*/7700*i*用

αレンズシステム

名　称	画　角（対角）	最近接撮影距離(m)/倍率	フィルター径(mm)	フード	大きさ(mm)（最大径×長さ）	重量(g)
AFフィッシュアイ16mmF2.8	180°	0.2/0.15	4種(内蔵)	固定	75×66.5	400
AF20mmF2.8	94°	0.25/0.13	72	バヨネット式	77.5×53.5	285
AF24mmF2.8	84°	0.25/0.16	55	バヨネット式	65.5×44	215
AF28mmF2	75°	0.3/0.13	55	バヨネット式	66.5×49.5	285
AF28mmF2.8	75°	0.3/0.13	49	内蔵	65.5×42.5	185
AF35mmF1.4	63°	0.3/0.2	55	バヨネット式	65.5×76	470
AF35mmF2	63°	0.3/0.17	55	バヨネット式	66.5×48.5	240
AF50mmF1.4	47°	0.45/0.15	49	内蔵	65.5×38.5	235
AF50mmF1.7	47°	0.45/0.15	49	内蔵	65.5×38.5	185
AF85mmF1.4	28°30′	0.85/0.13	72	バヨネット式	78×71.5	550
AF100mmF2	24°	1.0/0.13	55	バヨネット式	67×75.5	480
AF135mmF2.8	18°	1.0/0.16	55	内蔵	65.5×83	365
ハイスピードAFアポテレ200mmF2.8	12°30′	1.5/0.16	72	内蔵	86×134	790
ハイスピードAFアポテレ300mmF2.8※1	8°10′	2.5/0.14	42(専用)	内蔵	128×238.5	2480
ハイスピードAFアポテレ600mmF4※1	4°10′	6.0/0.11	42(専用)	内蔵	169×449	5500
AFレフレックス500mmF8	5°	4.0/0.13	専用	ねじ込み式	89×118	665
AFズーム24-50mmF4	84°〜47°	0.35/0.18	55	スナップ式	69×60	285
AFズーム28-135mmF4-4.5(マクロ付)	75°〜18°	0.25/0.25	72	———	75×109	750
AFズーム35-80mmF4-5.6(マクロ付)	63°〜30°	0.5/0.18	46	———	65×58	195
AFズーム35-105mmF3.5-4.5(マクロ付)NEW	63°〜23°	0.85/0.15	55	スナップ式	68.5×59.5	290
AFズーム70-210mmF3.5-4.5(マクロ付)NEW	34°〜12°	1.1/0.26	55	スナップ式	72.5×100	420
AFズーム75-300mmF4.5-5.6(マクロ付)	32°〜8°10′	1.5/0.26	55	スナップ式	72.5×163.5	865
AFアポテレズーム80-200mmF2.8	30°〜12°30′	1.8/0.13	72	バヨネット式	87.5×166.5	1350
AFズーム80-200mmF4.5-5.6(マクロ付)	30°〜12°30′	1.5/0.16	46	———	67×78	290
AFズーム100-300mmF4.5-5.6(マクロ付)	24°〜8°10′	1.5/0.24	55	スナップ式	72.5×100	410
AFマクロ50mmF2.8	47°	0.2/1.0	55	———	68.5×59.5	310
AFマクロ100mmF2.8	24°	0.35/1.0	55	バヨネット式	71×98.5	520
AF1.4×テレコンバーター-IIアポ※2	———	———	———	———	64×20	175
AF2×テレコンバーター-IIアポ※2	———	———	———	———	64×43.5	210
AF1.4×テレコンバーターアポ※3	———	———	———	———	64×20	175
AF2×テレコンバーターアポ※3	———	———	———	———	64×43.5	210

※1 ノーマル・1B・ND4X・Y52・O56・R60フィルター付　A12・B12フィルター(別販売)

※2 ハイスピードAFアポテレ200mmF2.8/300mmF2.8/600mmF4専用

※3 AFアポテレ200mmF2.8/300mmF2.8/600mmF4専用

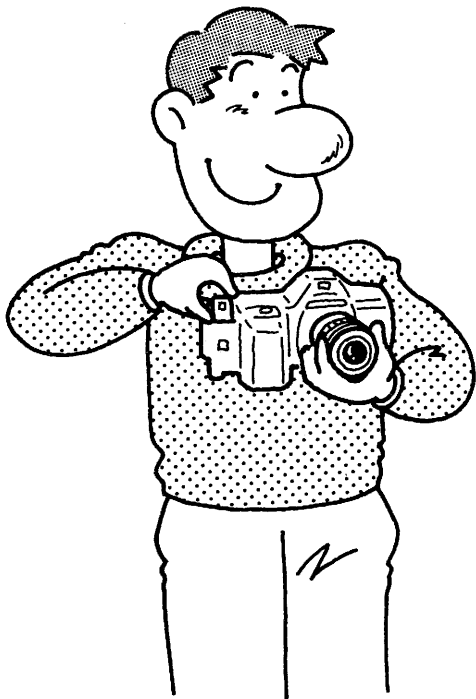
● AFズーム28-135mmF4-4.5は、手動ピント合わせによりマクロ撮影を行ないます。

名　称	レンズ構成（群一枚）	撮影範囲(mm)	撮影距離(mm)（ワーキングディスタンス※）	大きさ(mm)（最大幅×高さ×最短長）	重量(g)
AFマクロズーム3X-1X F1.7-2.8（マクロフラッシュ1200AF-N クローズアップカード付）	5-7	8×12(3倍) 24×36(1倍)	25(3倍) 40(1倍)	86×117×94.5	1100（電池別）

※レンズ先端から被写体までの距離

インテリジェントカードの紹介

インテリジェントカードは、
ひとりひとりの個性・テクニックに合わせて、
α-7700iをより自動化、多機能化します。

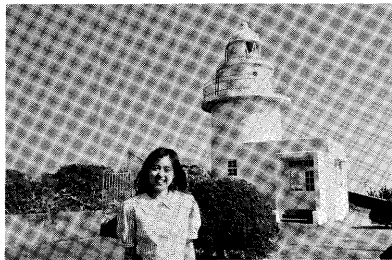
その他

フォトテクニックカード

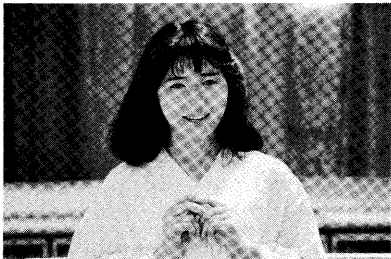
プロフェッショナルな撮影テクニックが、カードを入れるだけで誰にでも手軽に楽しめます。

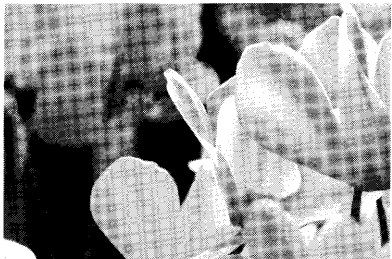
スポーツカード

スポーツ撮影や運動会の撮影なら、このカード。動きの速い被写体をシャープに写し止めます。

オートデプスカード

旅行先や、行事での記念撮影なら、このカード。被写体（人物）はもちろん、背景もはっきり写します。

ポートレートカード

人物をより美しく写すなら、このカード。立体感のある最適な絞り効果を発揮します。

クローズアップカード

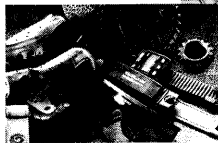
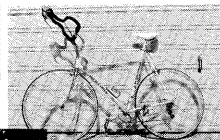
草花や昆虫などの小さな被写体をより美しく接写するなら、このカード。最適な絞り効果を発揮します。

スペックアップカード

必要なときに必要な撮影機能をα-7700iに付加することができます。

オートブラケットカード

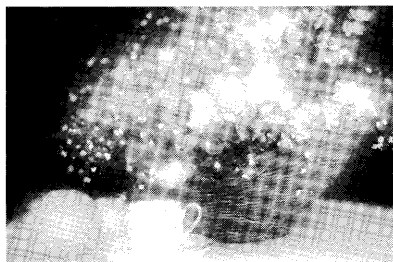
自分の好みの露出を選ぶための露出ずらし撮影が簡単に行なえます。

ハイライト・シャドーカード

白を白く、黒を黒く再現するよう自動的に露出を補正します。

オートシフトカード

絞り効果やシャッター速度効果を同じ露出で変化させて、好みの描写効果が得られます。

ファンタジーカード

ソフト効果や露光間ズーミング的な効果など、独特の効果が得られます。

データメモリーカード

撮影ごとに各種データを記憶させ、ボディ液晶表示で確認することができます。

データの内容

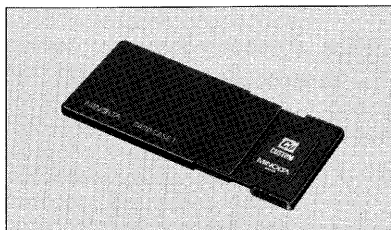
- シャッター速度
- 絞り値
- 撮影モード
- 露出補正値
- レンズ焦点距離
- 開放絞り値

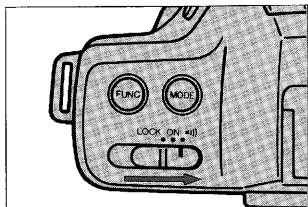
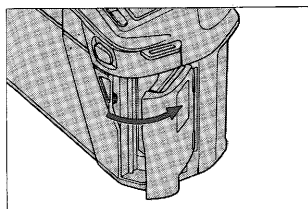
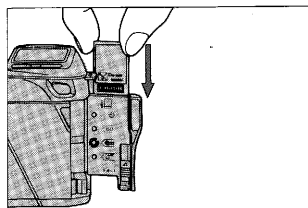
カスタムカード

撮る人の個性に合わせて、自分だけのカメラにチューンアップできます。

設定できる内容

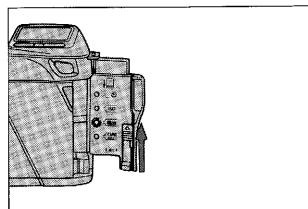
- 撮影モードの種類
- フォーカスホールドボタンの機能
- カメラぶれ警告ブザー音の有無
- フイルムカウンターの機能
- フイルムオートリターンの有無
- フイルム先端の有無

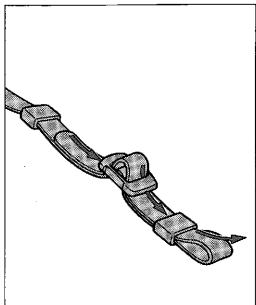
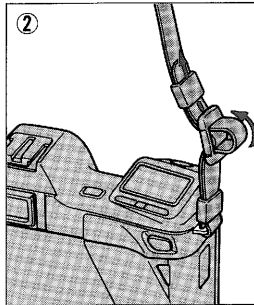
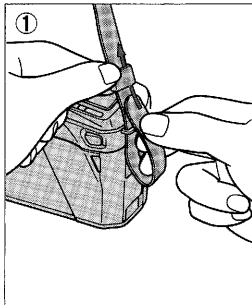
カードケース1

持ち運びに便利な専用ケースです(3枚まで収納可能)。

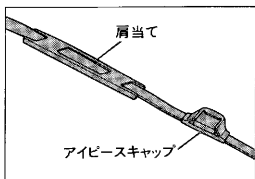
カードの入れ方

1 メインスイッチをONまたは •))) にします。

2 カードホルダーを開けます。

3 信号接点を手前にしてカードを入れます。

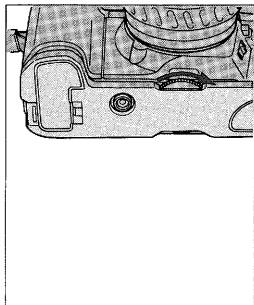
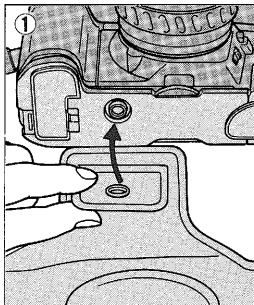
4 カードホルダーを閉じます。

● ボディ液晶表示部にCARDマークが点灯していなければ、カードの向きに誤りがないか確かめてください。

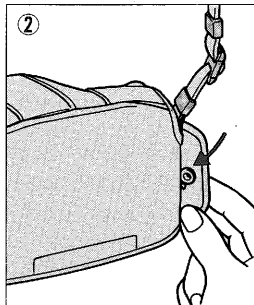
■カードの取り出し方

カードホルダーを開けて、カードイジェクトレバーを押し上げます。

ストラップの取り付け

1 ストラップの両端をほどきます。

2 ストラップは①②の順で取り付けます。

● 肩から下げやすい長さに調節してください。

● アイピースキャップは、セルフタイマー撮影やバルブ撮影のときに使用します(P.38 P.46参照)。
また付属のアクセサリーシューキャップを取り付けることができます。

ケースの取り付け

1 取り付けねじを回してアクセサリーベースを取り付けます。

2 フロントケースのスナップを①②の順に取り付けます。

- 後ろ側のマジックテープを取り付けてください。
- ズームレンズはレンズを最も短かくします。
- メインスイッチはLOCKにしてください。

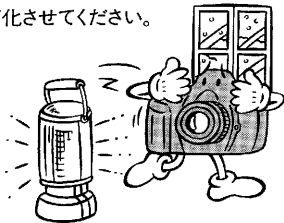
その他

カメラを大切にしましょう

どんなに優れたカメラでも適切な扱いをしなければ、その性能を十分に発揮できません。カメラを長持ちさせるためにも常に手入れをするよう心がけましょう。

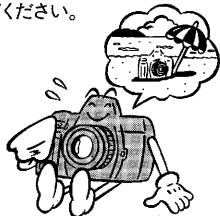
取り扱い

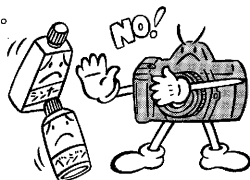
●カメラは精密機械です。落としたり、大きな衝撃を与えないでください。

●カメラの中に、ホコリ、砂、水、有害ガス、塩分などがはいると故障の原因になります。特に水辺での使用時は、気をつけましょう。

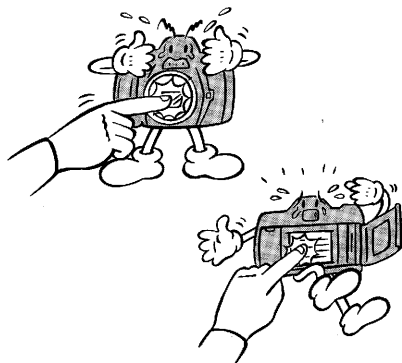
●本機の使用温度範囲は、−20℃〜+50℃です。極めて低温のところでは、カメラを保温しながらお使いください。
また、寒い外から暖かい部屋に入るなど、急激な温度変化は、カメラの内部に水滴を生じる危険性があります。温度変化の大きいときは、バックやビニール袋に入れてゆるやかに変化させてください。

手入れの仕方

■ボディ外部

●ブロアーでホコリを払い、乾いたやわらかい清潔な布でふいてください。
特に海辺などで使った後は、真水を少量浸した布で塩分をふきとり、乾いた布でよくふいて乾かしてください。

★シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は、絶対に使わないでください。

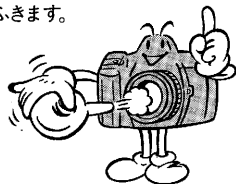
★マウント内上部の信号ピンは、触れないでください。

■ボディ内部

● ブロアーでホコリを吹き払うだけにしてください。

★ミラー、フォーカシングスクリーン、シャッター幕には絶対に指でさわらないでください。また、エアボンベタイプのブロアーの強い風を吹きつけることは絶対にしないでください。

★誤ってフォーカシングスクリーンを汚した場合は、ブロアーでホコリを払い、柔らかい清潔な布で軽くふきとってください。
ミラー、シャッター幕に汚れ等がついた場合は、当社サービスセンター、サービスステーションにご相談ください(裏表紙参照)。

★ご自分では絶対に分解しないでください。

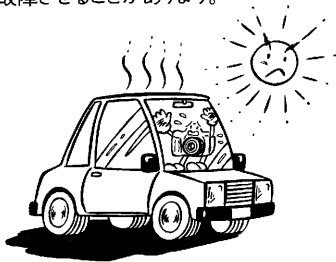
■レンズ

● ブロアーでホコリを吹き払ってください。もし汚れた場合は、柔らかい清潔な布で軽くふきとってください。それでもとれないときは、レンズクリーニングペーパーに市販の液体クリーナーをごく少量つけて中心から外側へ円を描くように、ふきムラ等のないように軽くふきます。

★レンズはむやみにふかないでください。

★液体クリーナー以外は、絶対に使わないでください。

カメラの保管

- カメラケースを外し、風通しの良いところに保管してください。湿気の多い時期は、ポリエチレン袋などに乾燥剤といっしょに入れるとより安全です。

★高温、多湿やホコリっぽいところは避けましょう。特に自動車のダッシュボードやトランクの中などに放置すると、極度の高温になり、故障させることがあります。

★カメラとレンズを別々に保管するときは、必ずそれぞれにキャップをつけてください。

★長期間使用しないでおくと、カビがはえたり、故障の原因になることがありますので、ときどきシャッターを切るようにしてください。使用前には、整備点検されることをおすすめします。

その他の注意

液晶表示について

液晶表示は、−20〜+50℃の温度範囲で作動します。

- 0℃以下の低温下では、表示の応答が遅くなることがあります（−10℃でも点滅表示の確認はできます）。
- 真夏の直射日光やストーブ近くに長時間放置するなど、極度の高温下（70℃以上）では表示全体が黒くなることがあります。このような場所での取り扱いには、注意してください（温度が下がれば、もとに戻ります）。

リチウム電池について

- 電池をカメラに入れるときは、電池接点の汚れや指紋などをよくふきとってください。そのまま入れると、接触不良の原因になります。
- 電池は分解したり、火の中へ投入しないでください。
- リチウム電池は低温特性にも優れていますが、0℃以下ではやや電池性能が低下します。寒冷地でご使用になるときは、カメラを保温しながら撮影してください。

フイルムのX線による感光防止について

- フイルムはカメラに入っていても、空港でのX線検査による感光は防止されません。
フイルムの入ったカメラであることを検査官に伝え、X線の照射を避けてください。

アフターサービスについて

①本製品の補修用性能部品は10年間を目安に保有しております。
②アフターサービスに関しては『アフターサービスのご案内』に詳しく記載しておりますので、ご覧ください。

故障かな?…と考える前に

何か異常が生じた場合は、下記のことをお調べください。それでも具合いが悪い場合は、お近くのサービスセンター、サービスステーションにお問い合わせください。

	症　状	原　因	処　置
表示関係	表示が出ない。	●電池の向きが間違っています。 ●電池容量がまったくありません。	●表示された向きに正しく入れてください。 ●新しい電池に交換してください。
	絞り値が - - となる。	●レンズが正しく取り付けられていません。 ●カメラのマウント内およびレンズマウントにある信号接点が汚れています。	●レンズをカチリとロックがかかるまで回して取り付けてください。 ●清潔な乾いた布で軽くふきとってください。
	HELP表示が出る。	●フイルム巻き上げ、巻き戻し時に異常が生じています。	●電池を一度抜いて、入れ直してください。
フォーカス関係	オートフォーカスが作動しない。	●レンズが正しく取り付けられていません。 ●フォーカスモードがM.FOCUSになっています。 ●レンズがマクロ切り替えレバーによるマクロ域に入っています。	●レンズはカチリとロックがかかるまで回して取り付けてください。 ●フォーカスモードをAF(オートフォーカス)側にしてください。 ●ズームリングをズーム目盛の範囲に戻してください。
	ピントが合いにくい。	●オートフォーカスの苦手な被写体です。	●手動によるピント合わせを行なってください。

※本カメラの制御は、マイクロコンピューターによって電子的に行なわれています。マイクロコンピューターの特性として極めて稀にカメラが作動しなくなることがあります。万一、このような状態になったときは、電池を入れ直してカメラを作動させてください。

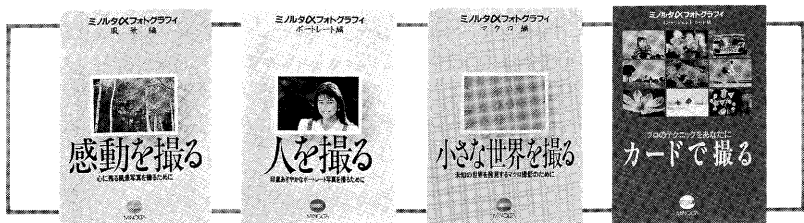
	症　状	原　因	処　置
操作関係	撮影モードが変更できない(Pモードのまま)。	●カード機能が働いています。	●カードを使用しない場合は、カードキーを押してカード機能をOFFにしてください。なお、カスタムカードの場合は、設定内容を変更してください。
操作関係	1コマ撮影に設定できない。	●オートブラケットカード、オートシフトカードが機能しています。	●カードを使用しない場合は、カードキーを押してカード機能をOFFにしてから、1コマ撮影に設定しなおしてください。
フラッシュ関係	フラッシュが発光しない、または マークが点灯しない。	●フラッシュがOFFになっています。 ●カメラとフラッシュが正しく接続されていません。	●フラッシュをONまたはAUTO ONにしてください。 ●フラッシュはカチリとロックがかかるまで差し込みます。
フラッシュ関係	フラッシュ撮影でピントが合わない。	●被写体との距離が遠すぎ、または近すぎます。 ●反射率の低い被写体をねらっています。	●フラッシュの使用説明書〝AF補助光機能″を参考に、被写体との距離を調整してください。 ●ほぼ同距離にある別の被写体でピント合わせを行なってください。
カード関係	カード機能が働かない(カードマーク表示が出ない)。	●カードの向きが間違っています。	●カードの向きを確かめて入れ直してください。

主な仕様

カメラタイプ	マイクロコンピュータ制御35mmAE一眼レフオートフォーカスカメラ
使用フイルム	パトローネ入り35mmフイルム(135型)画面サイズ:24×36mm
レンズマウント	ミノルタAマウント
使用レンズ	ミノルタαレンズ
オートフォーカス方式	TTL位相差検出方式多点測距 検出素子:CCD(3センサー2次元配置) 検出範囲:EV0〜18(ISO100) シャッターボタン半押しで作動 AFモード自動切り替え 動体予測フォーカス制御 3コマ/秒連続撮影にAF追随(当社試験条件による) スポットフォーカスエリア選択可能 マニュアルフォーカシング可能
AF補助光機能	内蔵 低輝度・低コントラスト時自動発光 測距可能範囲:約1〜9m(50mm標準 レンズ使用時・当社試験条件による)
撮影方式	プログラムAE(Pモード アドバンスオートマルチプログラム プログラムシフト可能) 絞り優先AE(Aモード) シャッター速度優先AE(Sモード) マニュアル(Mモード)
測光方式	TTL開放測光による多分割測光 AF情報に連動(スポット測光選択可能) 専用フラッシュ使用時はダイレクト測光 受光素子:シリコンフォトセル2個 測光範囲:EV0(スポット測光時EV3)〜20(ISO100・F1.4レンズ使用時) シャッターボタン半押しで測光開始(指を戻しても5秒間測光継続) フォーカスロック時およびスポット測光時AEロック 露出補正可能(±4EV 1/2段単位)
シャッター	電子制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター シャッター速度:1/4000秒〜30秒(P・Aモードは無段階 S・Mモードは1段単位)・バルブ(露出時間はカメラの電池寿命により制限) フラッシュ同調速度:1/125秒以下より長秒時
フラッシュ撮影方式	Pモード:低輝度時および逆光時フラッシュ自動発光(アドバンスオートフィルインによる日中シンクロ)・スローシンクロ(1/125秒〜30秒)可能 Aモード:1/125秒自動設定・スローシンクロ(1/125秒〜30秒)可能 Mモード:1/125秒〜30秒手動設定 シャッターボタンを半押しするかプログラムセットボタンを押せば充電開始(オートパワーオン・オフ)
ボディ液晶表示	撮影モード・絞り値・シャッター速度・ファンクション表示・カードマーク・カード内容表示・露出補正値・フイルム感度・フイルムカウンター・フイルムマーク・セルフタイマーマーク・マニュアルフォーカス表示・バッテリー表示(低輝度時は自動照明)
ファインダー内表示	絞り値・シャッター速度・露出補正値・フイルム感度・測光連動外警告およびメータードマニュアル表示・スポットフォーカスエリア表示・スポット測光表示(低輝度時は自動照明)・フォーカス表示・フラッシュ撮影表示・フラッシュ充電完了および調光確認表示

ファインダー	フォーカスフレーム(ワイド・スポット)およびスポットサークル付き全面アキュートマット(他に2種類 ユーザー交換可能) 視野率:縦92×横94% 倍率:0.84倍(50mm標準レンズ∞のとき) 視度:−1diopt.
フイルム感度	ISO25〜6400(1/3段単位)DXコード付きフイルム使用時は自動感度設定
フイルム給送	オートローディング(1コマ目まで自動送り) 1コマ撮影・連続撮影(最高3コマ/秒)切り替え可能 オートリターン(24枚撮りフイルムを約8秒で巻き戻し 巻き戻し自動停止) 途中巻き戻し可能
プログラムセットボタン	Pモード・AFモード・ワイドフォーカスエリア・1コマ撮影・露出補正0・フラッシュ電源ONに設定
カードシステム	フォトテクニックカード・スペックアップカード・カスタムカード(いずれも別販売)に対応
その他の機能	ブザー音によるお知らせ(合焦時 セルフタイマー作動時 P・Aモードのカメラぶれ警告) セルフタイマー(作動時間10秒 途中解除可能) オートロックアクセサリーシュー アイピースカップ リモートレリーズターミナル 裏ぶた交換可能
使用電池	6Vパックリチウム電池(2CR5)1個 メインスイッチON時に自動バッテリーチェック(4段階表示)
撮影可能本数	24枚撮りフイルム約65本(連続撮影の場合は約200本)当社試験条件(常温20℃、新品電池使用)による
大きさ・重量	153(幅)×93(高さ)×69(57※)(奥行)mm・590g(電池別) α-7700iクォーツデートは605g ※の数値はマウントからの奥行き

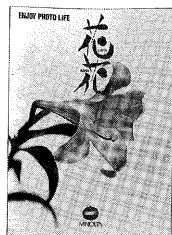
その他

αフォトグラフィテキスト

一眼レフ入門書として最適なテキスト。
レンズやフラッシュの選び方、構図や光の演出法、表現の実践等撮影のテクニックをわかりやすく解説しています。風景編・ポートレート編・マクロ編・カード編の4種類があります。
〈B5判 40ページ 有料〉

花の撮影ガイドブック

α-7700*i*を使って、花の写真をきれいに撮るためのテクニックをわかりやすく解説しています。
〈B5判 20ページ 有料〉

TRY US IV/CHRONICLE

α-7700*i*を中心にαシステムの世界を紹介するフォトガイドブック。
α-7700*i*を駆使したフォトストーリーや、αレンズによるプロ作家29名の作品群、α現象をとらえたインタビュー特集など、盛りだくさんの内容です。
〈A4判 124ページ 有料〉

花花（HANA BANA）

花の写真の魅力を様々な角度から紹介するフォトガイドブック。
プロカメラマン達が独自の感性でとらえた作品群、花を美しく撮る方法など盛りだくさんの内容です。
〈A4判 80ページ 有料〉

ご希望の方は、お近くのサービスセンター、サービスステーションへお問い合わせください（裏表紙参照）。

ミノルタカメラ株式会社

ミノルタカメラ販売株式会社

使い方に関する不明な点は、下記住所のフォトアドバイザーがお答えいたします。

サービスセンター

新　宿	〒160	東京都新宿区新宿3-17-5(カワセビル3階)	TEL (03)356-6281(代)
銀　座	〒104	東京都中央区銀座5-11-13(ニュー東京ビル1階)	TEL (03)545-3531(代)
大　阪	〒530	大阪市北区梅田1-11(大阪駅前第4ビル7階)	TEL (06)341-6501(代)
本　町	〒541	大阪市中央区備後町2-4-9	TEL (06)201-5816(代)

サービスステーション

札　幌	〒060	札幌市中央区北2条西4-1(三井ビル10階)	TEL (011)281-6666(代)
仙　台	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10(住友生命仙台青葉通りビル2階)	TEL (022)261-3431(代)
新　潟	〒950	新潟市東万代町1-30(新潟東万代ビル4階)	TEL (025)244-7188(代)
松　本	〒390	松本市深志2-4-26(太陽生命松本ビル6階)	TEL (0263)36-6188(代)
横　浜	〒221	横浜市神奈川区鶴屋町2-17-1(相鉄鶴屋町ビル6階)	TEL (045)314-9221(代)
静　岡	〒420	静岡市御幸町5-9(静岡FSビル7階)	TEL (054)251-7301(代)
名古屋	〒460	名古屋市中区丸の内3-18-28(KSビル5階)	TEL (052)962-6761(代)
金　沢	〒920	金沢市昭和町16-1(ヴィサージュ9階)	TEL (0762)60-5911(代)
広　島	〒730	広島市中区橋本町9-7(リクルート広島ビル4階)	TEL (082)223-2501(代)
高　松	〒760	高松市寿町1-2-5(朝日生命高松第2ビル4階)	TEL (0878)51-6239(代)
福　岡	〒812	福岡市博多区博多駅東2-2-2(博多東ハニービル1階)	TEL (092)441-6121(代)

営業時間 …………………… 新　宿　10:00～18:00(祝日定休)
大　阪　10:00～18:00(日・祝日定休)
その他　9:00～17:30(土・日・祝日定休)

9223-2076-51 IJLAN⑱